

平成30年度

国立大学法人 兵庫教育大学概要

# Hyogo University of Teacher Education

2018 ▶ 2019



Hyogo University of Teacher Education

## 創設の趣旨

兵庫教育大学は、  
教育基本法(昭和22年法律第25号)の精神に則り、  
学校教育にかかる諸科学の理論と  
応用に関する研究を総合的に推進し、  
文化、社会の発展に資する創造的知性と  
人間愛に支えられた教員を育成し、  
もって教育、学術、文化の進展に寄与することを  
目的として設置されています。



## CONTENTS

### ■ アウトライン

創設の趣旨	
ミッション、ビジョン、学長からのメッセージ	01
沿革	02
数字で知る兵庫教育大学	03
運営組織等・役職員	04
教育研究組織	05

### ■ 本学の特徴

#### ■ 学部・大学院

学校教育学部	10
修士課程	12
神戸ハーバーランドキャンパス	15
専門職学位課程	16
大学院連合学校教育学研究科	18
連合大学院大阪サテライト	19

#### ■ 附属施設

附属図書館	20
教育実習総合センター／教職キャリア開発センター	21
発達心理臨床研究センター／情報処理センター／ 保健管理センター	22
社会連携センター・教育委員会等との連携協力	23
都道府県連携推進本部と同窓会等	24
附属学校園／やまくにプラザ	25

#### ■ 国際交流

グローバル教育センター／留学生数／ 海外短期派遣プログラム派遣実績	26
交流協定大学	27

#### ■ 統計

教職員数	28
学生数	29
入学者数	30
卒業者・修了者数等	31
就職状況	32
財政	33

#### ■ キャンパス

加東キャンパス 建物等配置図	34
学生寄宿舍等／土地・建物	36
アクセス	37

## 兵庫教育大学のミッション

### —「教育子午線※」からの発信

兵庫教育大学は、教員の資質能力の向上と学校教育の改善を求める社会的要請に応えるために、次の使命を遂行します。

#### ▶1 「現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成」

現職教員に対し、教育現場の課題を踏まえた学びの場を提供することにより、専門職として高度な専門性と実践的指導力を育成します。

#### ▶2 「実践力に優れた新人教員の養成」

豊かな教育環境を生かして、実践力と人間性に優れた新人教員を養成します。また、教育大学の特性を生かして、学校教育分野の心理専門職を養成します。

#### ▶3 「教育実践学の推進」

学校教育に関する理論と実践を融合した研究(「教育実践学」)を推進し、優れた研究者を養成します。

#### ▶4 「教師教育の先導的モデルの構築」

国内外の学校教育の課題やニーズを不断に捉え、新しいカリキュラムや教育方法を主体的に改善・開発することにより、教員養成・研修の先導的モデルとなります。

#### ▶5 「教育研究成果の国内外への発信」

教育と研究の成果を地域や広く国内外に発信し、学校の教育活動に生かします。

※教育子午線とは…兵庫教育大学が日本中央標準時子午線をまたぐキャンパスを有することから、我が国の教師教育の中心的存在として先導的な教育研究に関わる取組を行っていることを象徴するものとして名づけたものです。

## 兵庫教育大学のビジョン

兵庫教育大学は、次のような大学を目指します。

### 「教師教育のトップランナー」

高い専門性と確かな実践力を備えた教員を養成するとともに、先導的な教育研究を推進して、教師教育の実践と研究における全国拠点(ナショナルセンター)並びに地域拠点(リージョナルセンター)となります。

### 「学生の持てる力を最大限に引き出す大学」

質の高い教育内容と充実した学習環境を提供して、学生一人ひとりがその可能性を最大限に伸ばし、高い達成感と満足感を得られる大学となります。

### 「成長し続ける大学」

時代に即応する教育研究と大学運営を効果的に遂行できる環境を整備して、教職員の帰属意識を高め、成長し続ける大学となります。

## President Message

### ■学長からのメッセージ

大学概要は、大学の基本データだけでなく、どのような人材を育てて社会に送り出すのか、そのためにどのような制度を設け施策を行っているのか、そして実際に成果はどうかをステークホルダーだけでなく、一般の学外者に対してもわかりやすく示したものである必要があります。兵庫教育大学では、そのような視点から、大学概要に掲載する内容や表示方法を精査し、わかりやすさを基本にして編集いたしました。

本学は、学校現場の現職教員の研修研鑽と新人教員養成を両輪とした極めてミッションの明らかな大学です。1978年の創立当時から、学校現場に内在する今日的課題の解明に資する教育研究活動を展開し、教育委員会等と大学との密接な連携協力を図るという、現在でもそのまま通用する課題を長年背負いつつ、常に国の施策や時代に対応した教育を展開しています。実際、多くの優秀な卒業生・修了生が日本全国の学校・教育現場で活躍しています。また、研究面においては教育実践学の構築を目指し、連合学校教育学研究科を1996年に設置し、博士(学校教育学)を授与しています。さらにグローバル時代に対応して、海外協定大学とさまざまな交流事業を行っています。このように本学は全国の教員養成系大学の中でも誇るべき地位を確保しており、これからも「教師教育のトップランナー」として、わが国の教員養成、教育政策等を牽引する大学として貢献いたします。

兵庫教育大学 学長

福田 光完

FUKUDA MITSUHIRO



# History

■沿革

昭和53(1978)年10月1日

■兵庫教育大学設置(開学)

■学校教育学部初等教育教員養成課程(入学定員200人)を設置(昭和57年度から学生受入れ)

昭和55(1980)年4月1日

■大学院学校教育研究科設置(学校教育専攻、幼児教育専攻及び教科・領域教育専攻/入学定員150人)

昭和56(1981)年4月1日

■大学院学校教育研究科に教科・領域教育専攻の自然系コースを増設し、入学定員を200人に改定

昭和57(1982)年4月1日

■大学院学校教育研究科に障害児教育専攻並びに教科・領域教育専攻の芸術系コース及び生活・健康系コースを増設し、入学定員を300人に改定

平成8(1996)年4月1日

■大学院連合学校教育学研究科設置(学校教育実践学専攻、教科教育実践学専攻/入学定員24人)

平成12(2000)年4月1日

■大学院学校教育研究科の幼児教育専攻を学校教育専攻の幼年教育コースに変更し、学校教育専攻の教育臨床コース及び教科・領域教育専攻の総合学習系コースを増設し、3専攻・12コースに改組

■学校教育学部(初等教育教員養成課程)を2専修・9コースに改組し、入学定員を160人に改定

■大学院神戸サテライト設置

平成16(2004)年4月1日

■国立大学法人法の施行に伴い、国立大学法人兵庫教育大学設立

■大学院学校教育研究科学校教育専攻に学校心理コースを増設

■連合大学院大阪サテライト設置

平成17(2005)年4月1日

■大学院重点化に伴い教員の所属を大学院に変更

平成18(2006)年4月1日

■特別支援教育学専攻に心身障害コース及び特別支援教育コーディネーターコースを開設

平成19(2007)年4月1日

■大学院学校教育研究科を改組し、学校指導職専攻及び教育実践高度化専攻(3コース)を新設

平成20(2008)年4月1日

■大学院学校教育研究科を改組し、専門職学位課程(教職大学院)教育実践高度化専攻(4コース)を開設

平成21(2009)年4月1日

■大学院連合学校教育学研究科(博士課程)に先端課題実践開発専攻を設置

平成23(2011)年4月1日

■大学院学校教育研究科(修士課程)を改組し、人間発達教育専攻、特別支援教育専攻、教育内容・方法開発専攻を設置

平成25(2013)年4月1日

■神戸サテライトを整備・拡充し、神戸ハーバーランドキャンパスとして開設

平成28(2016)年4月1日

■大学院学校教育研究科(修士課程)教育内容・方法開発専攻を改組し、教科教育実践開発専攻を設置

■大学院学校教育研究科(専門職学位課程[教職大学院])教育実践高度化専攻に

教育政策リーダーコース及びグローバル化推進教育リーダーコースを開設

■大学院連合学校教育学研究科の入学定員を32人に改定

平成30(2018)年4月1日

■学校教育学部の課程名称を「学校教育教員養成課程」に変更



▲皇太子同妃両殿下  
(現 天皇后両陛下)行啓  
(昭和55年)



▲連合大学院 第1回入学式



▲教職大学院開設記念式典



▲神戸ハーバーランドキャンパス  
オープン記念式典

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



# 数字で知る

## 兵庫教育大学

### 歴史

教員の資質能力向上と学校教育の改善を求める社会的要請に応えるために歩み続けて

今年で創立 **40** 年

平成30年10月に創立40周年を迎えます!

昭和53(1978)年開学

▶P.2

### 学生数

約 **1,500** 人

●学部…**688**人 ●修士課程…**463**人

●専門職学位課程…**188**人 ●博士課程…**151**人 (4大学合計)

▶P.29

### 教職大学院定員

全国最大!

**100** 人 ▶P.29

### 教員就職率 (教員・保育士への就職率)

10年以上全国トップクラスの教員・保育士就職率を維持!

●学部卒業者

●教職大学院修了生<sup>(※)</sup>

**84.5%** **86.0%**

(平成28年度卒業・修了生)

●民間企業・公務員等への就職者を含めた全体の就職率

…(学部)**92.5%**、(教職大学院)**90.7%**

※現職教員を含まない。

▶P.7

### 大学院修了者数

(平成29年度まで)

●修士課程…**8,957**人 ●専門職学位課程…**699**人

●うち現職教員は**6,159**人、兵庫県出身者は**3,749**人

▶P.31

### 学位授与者数 (博士課程)

日本唯一の学位「博士(学校教育学)」を授与

**438** 人 (平成10年~29年度)

●博士(学校教育学)…**389**人 ●博士(学術)…**49**人

▶P.31

### 研修支援

兵庫県教育委員会との連携・協働による

「学校管理職・教育行政職特別研修」を実施(平成16年度~)

●受講者総数

約 **3,600** 人 (平成29年度実施分まで)

[受講対象者:新任教頭等、新任指導主事等]

▶P.23

### 免許状更新講習

教員がより一層、自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指す

●開設講座数

**106** 講座

兵庫県内  
最大規模

●受講者数

**3,545** 人<sup>(※)</sup>

※平成29年度実績(延べ人数)

▶P.24

### 附属図書館 蔵書数

地域に開かれた大学図書館。夜間開館も実施中

約 **37** 万冊 [学生一人あたり約**245**冊!]

雑誌は**3,726**タイトル。年間入場者**12万9,170**人

▶P.20

### キャンパスサイズ

甲子園球場<sup>(※)</sup>が10個分の広大なキャンパスです!

約 **40** 万<sup>㎡</sup>

[加東キャンパス(嬉野台地区)]

※甲子園球場公式Webサイトより算出

▶P.34

### 予算規模

約 **50** 億円

▶P.33

### 役職・教職員数

日本の教員養成を支える教職員

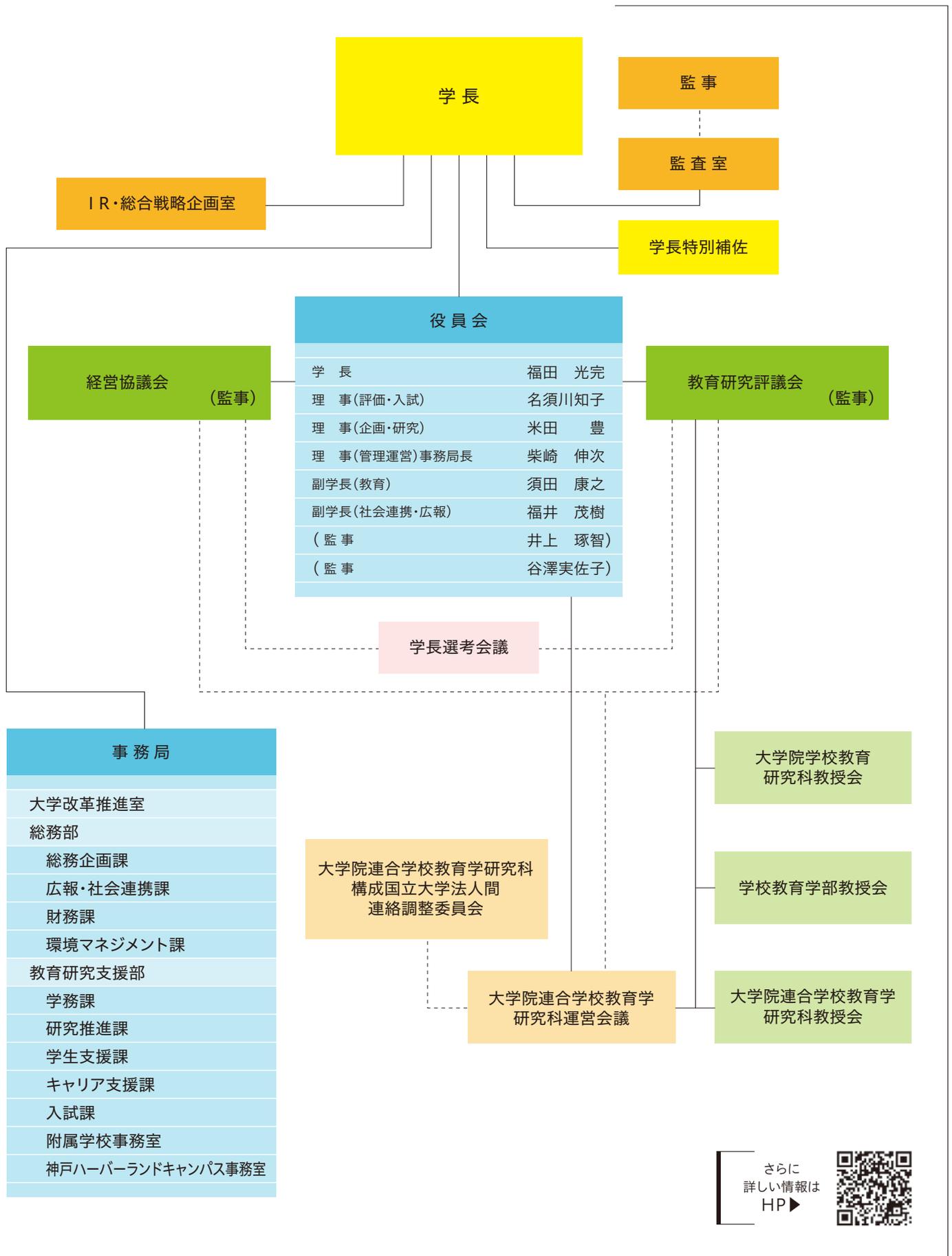
**332** 人

●役職員…**8**人 ●教員…**162**人(特任教員等含む)

●附属学校教員…**53**人 ●事務職員…**109**人

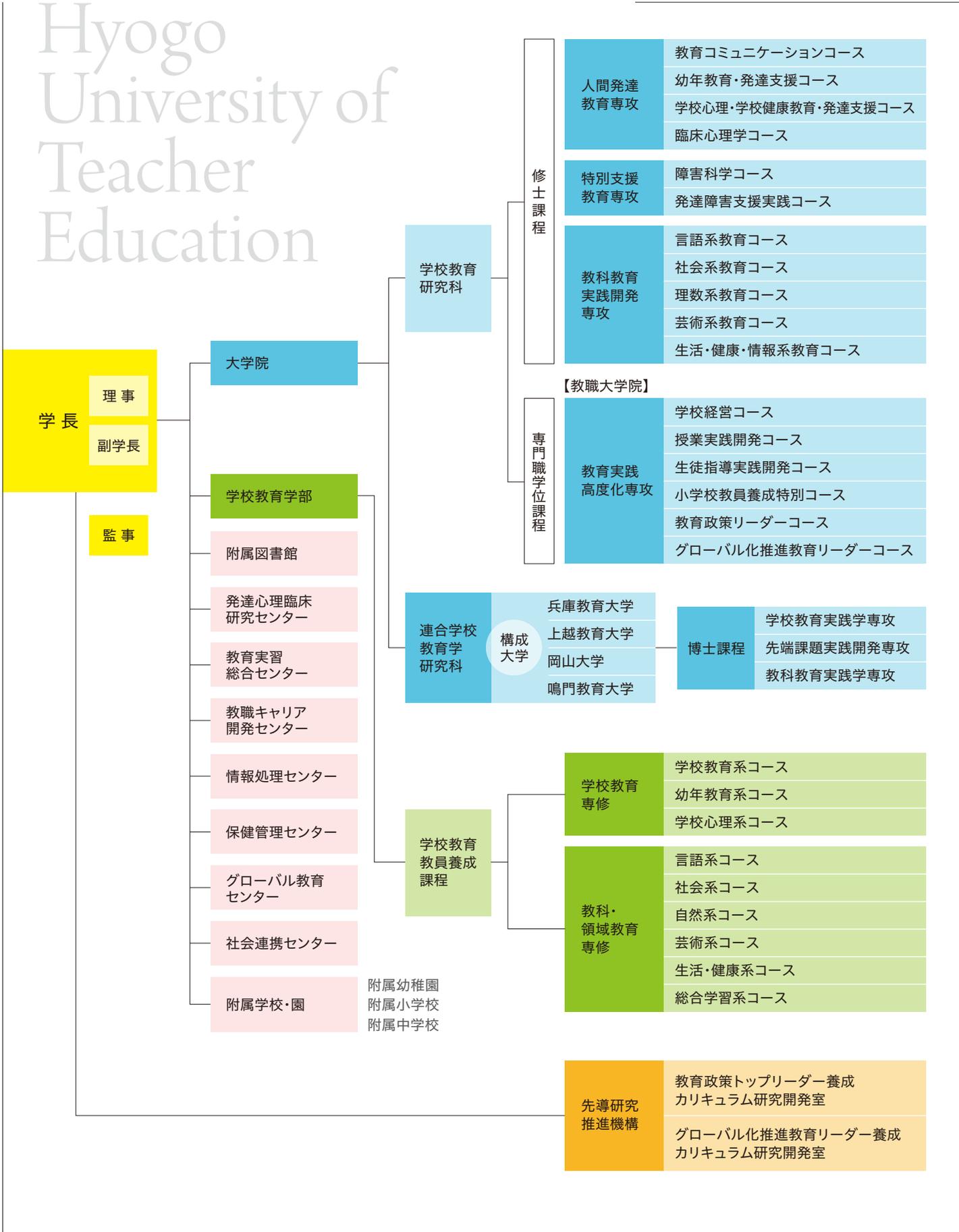
▶P.28

# 運営組織等・役職員



# 教育研究組織

## Hyogo University of Teacher Education



# Features of the University

## 大学院学校教育研究科

### 全国最大規模の教員養成系大学院

修士課程(3専攻:定員200名)と専門職学位課程[教職大学院](1専攻:定員100名)で構成しています。

それぞれの目的に沿って、主に初等中等教育の高度な教育・研究能力を有する教員を養成しています。また、大学院教育において理論と実践の融合を図るため、学校現場との連携を重視した取り組みを行い、以下のような人材を養成しています。

#### 修士課程

- ▶ “子どもとのかかわり”から教育を捉え、多様な観点から協働的に問題解決が出来る教員
- ▶ 幼年教育の理論と実践に基づき、子どもと共に希望ある未来を作る子育て支援コーディネーター
- ▶ 教育現場における子どもの発達や教員の悩みを、総合的に支援できる心理専門職
- ▶ 障害のある児童に対し、専門的・総合的な支援を行える特別支援教育スーパーバイザー
- ▶ 教科に対する深い知識と専門性を背景に、授業作りを行うエキスパート

#### 専門職学位課程(教職大学院)

- ▶ 高度な経営力を備え、新しい学校と教育行政をつくるトップリーダー
- ▶ 授業実践や生徒指導において、学校現場で指導的役割を果たし得るミドルリーダー
- ▶ より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員

関連ページP.12、16▶

## 大学院連合学校教育学研究科

### 日本唯一の学位 博士(学校教育学)を授与

連合学校教育学研究科(博士課程)は、兵庫教育大学を基幹大学とし、上越教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学が連合して構成している後期3年だけの博士課程であり、実践に根ざした学校教育学を独自の学問分野として確立し、今日の教育課題の解決と学校教育の質的改善・改革に貢献しています。

本研究科は、学校教育実践について高度で専門的な研究を行い、学校教育実践学及び教科教育実践学の分野において、自立して研究・実践できる研究者及び専門職教育者を養成しています。



▲兵庫教育大学



▲上越教育大学



▲岡山大学



▲鳴門教育大学

関連ページ  
P.18▶

さらに詳しい情報は  
HP▶



## 先導研究推進機構

### 教師教育の先導的モデル構築のために

本学は、国内外の学校教育の課題やニーズを不断に捉え、新しいカリキュラムや教育方法を主体的に改善・開発し、教員養成・研修における先導的モデルの構築をミッションとしています。そのため、平成27年1月に先導的な研究プロジェクトの全学的な企画立案及び積極的推進を図る「先導研究推進機構」を創設し、同年4月に活動拠点の研究オフィス「イノベティブラボ」(通称:神戸ラボ)を神戸に置きました。

同機構には、「教育政策トップリーダー養成カリキュラム研究開発室」及び「グローバル化推進教育リーダー養成カリキュラム研究開発室」を設置しており、28年度には大学院に地域の教育行政幹部職員(教育長含む)と学校教育のグローバル化を推進するスクールリーダーを養成するコースを開設しました。

また、27年度から全国の会場で全国市区町村教育長をはじめ、教育行政幹部職員を対象とした教育行政トップリーダーセミナーを開催しています。

さらに  
詳しい情報は  
HP▶





# 「学び続ける教員」の養成 教員養成スタンダード

## 学校教育学部

本学の養成する教師像を具体的に示した「教員養成スタンダード」を開発し、全学的な指導体制を整えています。

大学卒業までに身につけておくべき  
最小限必要な資質・能力を5領域50項目で構成

## 大学院学校教育研究科

経歴や年代の異なる大学院生が、コースの求める人材像に基づいて、それぞれの学びの質的側面を可視化しています。

全コース共通の「基礎部分のスタンダード」と  
各コース別の「専門性の実現に向けたスタンダード」の  
二つの枠組みで構成

■兵庫教育大学 教員養成スタンダードの概念図

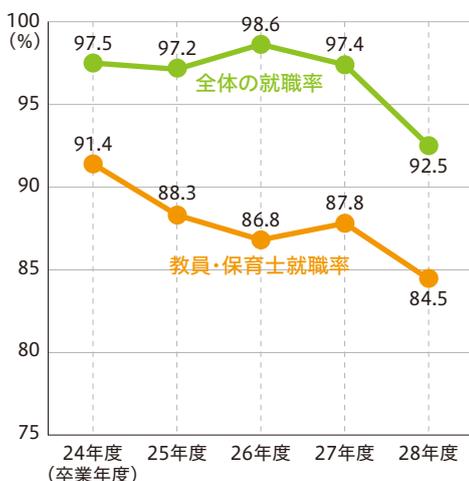


# 教職キャリア開発センター 教員・保育士就職の高い実力

兵庫教育大学学校教育学部の平成28年度卒業生の教員・保育士への就職率は84.5%と全国的に見ても非常に高いものとなっています。また、民間企業・公務員等への就職者を加えた全体の就職率も92.5%と非常に高い就職率です。

本学では、学生の教員・保育士就職への高い意欲と教職員の熱意ある指導により、10年以上にわたり全国トップクラスの教員・保育士就職率を維持しています。

■学部卒業生の教員・保育士就職率等の推移



備考: 1. 数値は、卒業翌年度の9月30日現在。  
2. 就職率の算出には、卒業生から進学者を除く。  
3. 教員・保育士の就職者には、臨時的任用者を含む。  
4. 9月末卒業生を含む。

■教職大学院修了者の教員就職率等の推移



備考: 1. 数値は、修了翌年度の9月30日現在。  
2. 就職率の算出には、修了者から現職教員及び進学者を除く。  
3. 教員の就職者には、臨時的任用者を含む。

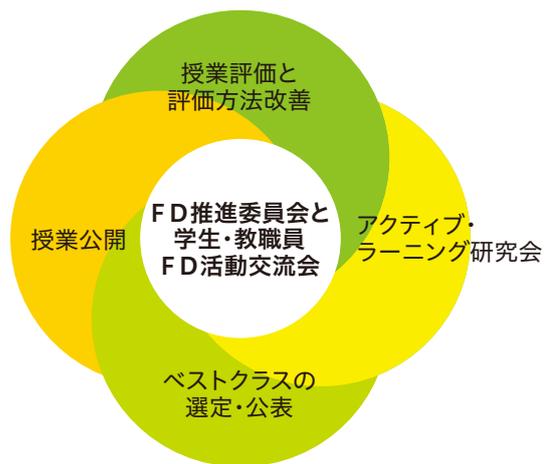
関連ページ  
P.32 ▶

さらに詳しい情報は  
HP ▶



### FD(ファカルティ・ディベロップメント)の取組 教育の質の向上及び改善のために

兵庫教育大学では、FDを「本学のミッション及びビジョンを実現するために、大学院・学部におけるカリキュラムや授業についての内容・方法・評価等に関して、教員と事務職員が協働し、学生の参画を得て行う、教育の質保証をめざすあらゆる取組」と定義し、FD推進委員会を中心に様々な取組みを行っています。



#### 学生・教職員FD活動交流会

教職員と学生が直接対話をしながら、FD活動の推進を検討するのが、FD交流会です。

#### ベストクラス

優れた授業とはどのような授業なのか。それを教職員と学生が一緒になって考えています。

ベストティーチャーではなく、授業はその参加者全員によってつくられるという考えのもと、ベストクラスを選定し公表します。

さらに詳しい情報は  
HP▶



### 現職教員のための研修事業

### 「学び続ける教員」のための現代的ニーズを捉えた研修

兵庫教育大学では、学校現場及び教育委員会等との連携・協働等により、現職教員及び学校管理職等を対象とした様々な研修プログラムの開発に取り組んでいます。また、教員の力量形成を支援する研修講座を実施するなど、現代的ニーズを捉えた現職教員のための研修事業を展開しています。

関連ページ  
P.23▶

さらに詳しい情報は  
HP▶



▲学校管理職・教育行政職特別研修(ニューリーダー特別研修)

### 英語力向上ステーション

### 学部学生の英語力向上のために

兵庫教育大学では、学部学生が小学校教員になるための英語力の向上を目指し、「英語力向上ステーション」を開設しました。本ステーションでは、英語力向上を目的とした学生が気軽に訪れ、英語に接することが可能となるだけでなく、本学のグローバルゼーション並びに英語力向上のための各種事業の拠点として、TOEICや英語検定等の受験対策講座や、留学生やネイティブ講師との「Eigo de ランチ」等、英語力向上に関する様々な活動やイベントを実施しています。

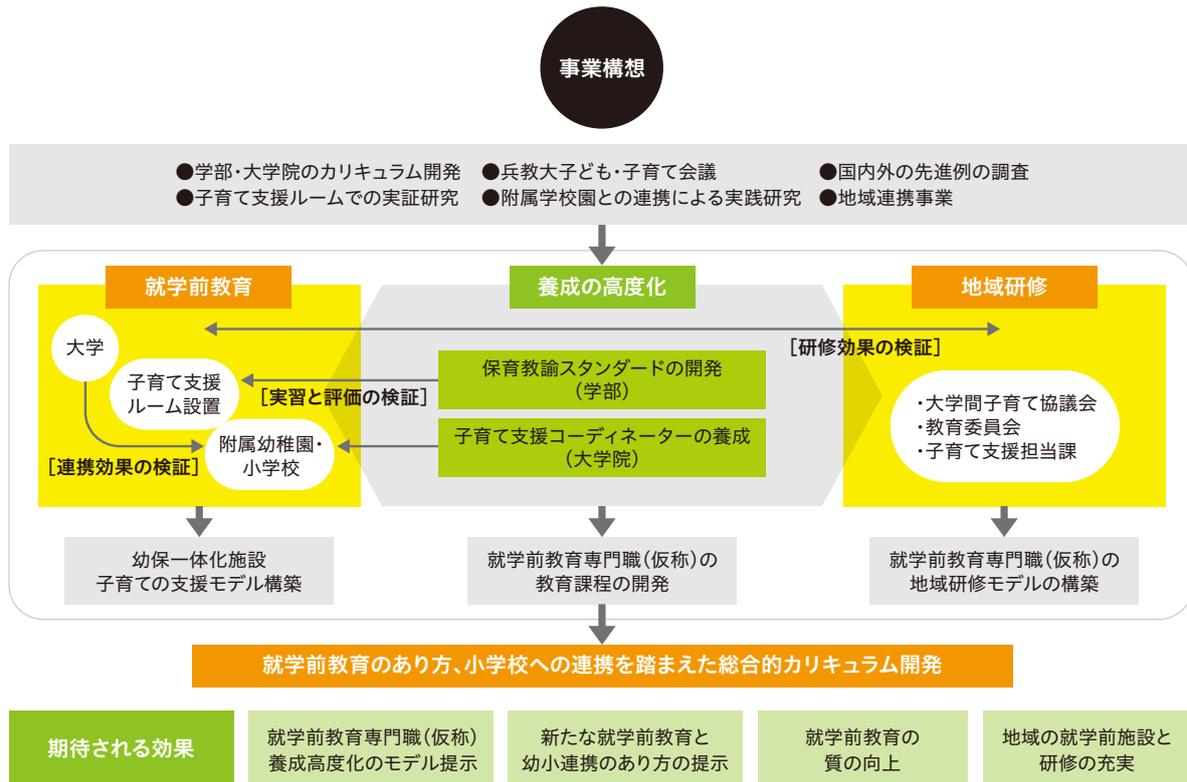


▲英語力向上ステーション



## 就学前教育カリキュラム研究開発室 就学前教育の質の向上のために

学部から大学院までの専門性を考慮した保育教諭及び子育て支援コーディネーターの教育課程を開発し、幼小連携を見据えた学びの基礎を培う指導のできる就学前教育専門職(仮称)の養成のために、0歳から就学までの一貫した質の高い教育のあり方について、地域と連携しながら実践・検証し、総合的カリキュラムの開発に取り組んでいます。



関連ページ  
P.25 ▶

さらに詳しい情報は  
HP ▶



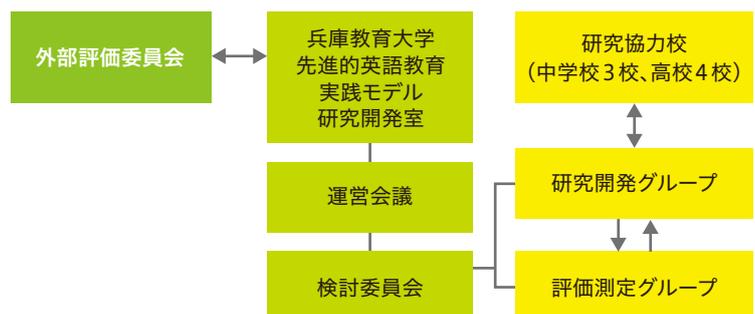
## 先進的英語教育実践モデル研究開発室 中高生の英語力の変容を実証的に研究

本学は、文部科学省の委託事業「中学校・高等学校における英語教育の抜本的改善のための指導方法等に関する実証研究」事業(平成28~31年度)を受託しました。

先進的英語教育実践モデル研究開発室は、この研究推進の中心的役割を担っており、教員の指導力と生徒の英語力の変容との因果関係を分析し、英語教育の先進的な実践モデルの開発に取り組んでいます。

### 各学校で取り組む研究課題

- 生徒の英語発話機会を増やす効果的な授業形態研究校
- パフォーマンス評価研究校
- ICT研究校



# Faculty Graduate School

## 学校教育学部(学校教育教員養成課程)

広い学問領域にわたる基礎知識のうえに、教員としての総合的な能力を得させることを目的として、4年間を通して教育課程全体の調和と整合性に配慮し、豊かな人間性と深い専門性に支えられ、かつ、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた教員を養成しています。

1年次から4年次の4年間にわたる実地教育(教育実習)を開設し、各年次の実地教育の履修を通して、教養科目群、教職キャリア科目群、教育実践・リフレクション科目群、専修専門科目群の諸成果が統合化・協働化されるようにコンカレント型の教育課程を編成しています。

### 教育課程

区分	概要	卒業要件単位数
<b>教養科目群</b> ■ 基礎的アカデミック能力科目 ■ 社会課題探究科目 ■ 理数系基礎科目 ■ 表現コミュニケーション科目	複雑かつ急激に変化する現代社会において求められる、教員としての教養を培うことを目的とし、基礎的アカデミック能力科目、社会課題探究科目、理数系基礎科目及び表現コミュニケーション科目から構成されます。諸学問領域において蓄積されてきた知識を活かしながら、幅広い視野から問題の全体像とその本質を把握し、学生自身が主体的かつ協働的に探究していくことを目指します。	30単位以上
<b>教職キャリア科目群</b> ■ 教職基礎科目 ■ 教職支援科目 ■ 教職発達科目	教職の意義等に関するもの、教育の基礎理論に関するもの、教育課程及び指導法に関するもの及び生徒指導、教育相談及び進路指導等に関するもの等学校教育の理論及び実践に係る分野についての知識及び経験を得させることを目的として開設しています。	32単位以上/ 24単位以上
<b>教育実践・リフレクション科目群</b> ■ 初等教科内容科目 ■ 初等教科指導法科目 ■ 実地教育科目 ■ インターンシップ科目	理論と実践の往還を通して教科指導を中心とした実践的力量を形成することをねらいとしています。そのために、「初等教科内容科目」、「初等教科指導法科目」、「実地教育科目」及び「インターンシップ科目」という区分に従って開設しています。	54単位以上
<b>専修専門科目群</b> ■ 専門教育科目 (教科に関する科目) (教職に関する科目)	教員としての共通の基盤の上に、学生の資質、適性等に応じて、特定の専門分野についての指導能力を高め、また、生涯を通じて、教員としての専門性を持ち、研究を推進しうる能力・態度を培うため、学生の選択による専修のコースにより、特定の分野について深く履修するよう専修専門科目を開設しています。	20単位以上/ 28単位以上
備考: 科目ごとの卒業要件単位数は専修(専修のコース)により異なります		計136単位以上



さらに  
詳しい情報は  
HP▶





## 専修・コースの概要

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



### ■学校教育専修

幼児期・児童期の発達課題にふさわしい教育内容やカリキュラム、子どもの理解や学校教育の在り方についての教育学的・心理学的知見を身につけ、さらに、学校教育現場における様々な問題行動を解決し、予防的指導を行うことができる教員の養成を目指します。

コース	概要
学校教育系コース	学校教育の成立基盤となる教育理念、教育思想、心身の成長と発達、学校指導者のリーダーシップ、教師と児童・生徒の人間関係、授業における教授と学習、教育課程、学校・家庭・社会における児童・生徒の心身の発達と適応問題などについて、教育学的・心理学的立場から学習し研究を行います。
幼年教育系コース	子どもの幼年期(乳児期・幼児期・児童前期)における生活、遊びなどに関する発達やカリキュラムについて学びます。さらに、幼児教育、小学校教育及び家庭教育・地域との連携も含めた幼年教育の理論と実践について総合的な学習と研究を行います。
学校心理系コース	幼児・児童・生徒の学習活動と人間関係の促進、不適応の早期発見とその教育臨床心理、発達障害のある子どもとその家族への支援、子ども達及び教師や親の精神保健に関する基礎的理論と実践について学習し研究を行います。

### ■教科・領域教育専修

子どもの発達段階に応じた各教科の教育内容や教育方法及びカリキュラムについての深い理解のもとに教科学習を指導することのできる、実践的な指導能力をもった教員の養成を目指すとともに、教科横断的学習を主とする「総合的な学習」に関する知見と実践的指導力を身につけ、学校教育現場においてその推進者となることのできる教員の養成を目指します。

コース	概要
言語系コース	<b>国語分野</b> 国語学(現代語・古典語)、国文学(近代文学・古典文学・児童文学)、漢文学及び学校教育の実践に視点を置く国語科教育学(国語科教育及び書写・書道科教育)、日本語教育の実践に視点を置く日本語教育学について学習し研究を行います。
	<b>英語分野</b> 英語教育の実践を目標として、英語学、英米文学、英語教育学のそれぞれにおいて学習と研究を行います。
社会系コース	社会科教育の実践力形成を目標として、人文・社会諸科学の内容論と社会科教育学との二つの柱から成り、それぞれの内容に即して学習と研究を行います。
自然系コース	数学分野と理科分野があり、各分野における教科内容とその背景、及び各分野の教科教育について、基礎的な知識や方法論を修得し、3年次以降は、それぞれの分野を中心として、算数・数学または理科に関する内容と教育方法の両輪の実践力を備えた教員を目指し、理論的・実践的な学習と研究を行います。
芸術系コース	音楽分野と美術分野があります。両分野とも教育的実践、指導方法、教材開発などの教科教育学と芸術的な感性や表現の能力を高める演奏や制作、鑑賞批評に関する理論などを通して、真に文化的で創造的な活動へと導く芸術科教育に取り組みます。学校および人間生活をより豊かにする教科として、音楽科と図画工作・美術科教育の可能性を多角的に広げる学習と研究を行います。
生活・健康系コース	<b>保健体育分野</b> 運動・スポーツや健康の教育に関する理論及び実技、さらに、これらを総合した保健体育の教育実践に必要な知識や技術について学習と研究を行います。
	<b>家庭分野</b> 生活環境の変化に対応した家庭科の役割及び教育に関する基礎理論と実践について学習し研究を行います。
総合学習系コース	小・中・高等学校での「総合的な学習の時間」について研究し、これに弾力的に対応できるような指導能力をつけるために設けられているコースです。 具体的には、「総合的な学習の時間」における横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して得られる、児童・生徒の資質・能力を明らかにするとともに、その実践・評価等の「教育方法」を研究します。あわせて、内容としての「国際理解」「情報」「環境」等についての理論的・実践的な学習と研究を行います。

## 大学院学校教育研究科【修士課程】

教育の理論と実践の融合により、教育実践学の構築を目指して教育現場のニーズと実践性に根ざした高度な教育研究を推進して、人間力と教育力を兼ね備えた教員を養成しています。

社会構造の急激な変化や価値観の多様化を反映した教育課題の複雑化が進行する中、各専攻・コースにおける主な教育研究課題を明示して、教育理論や教科指導の基礎的内容を充実させると同時に学際的、総合的な研究にも対応できるようにしています。

また、社会の求める多様なニーズに応えるため、特色ある教育プログラムを開発しています。



- 理数系教員養成特別プログラム
- 小学校英語活動プログラム
- 教職アドバンスプログラム
- 子育て支援コーディネーター養成プログラム
- コア・サイエンス・ティーチャー(CST)養成プログラム
- 健康教育実践プログラム
- ダブルディグリープログラム
- 神戸ハーバーランドキャンパス特別支援教育プログラム

### 教育課程 [人間発達教育専攻、特別支援教育専攻、教科教育実践開発専攻]

区分		修了要件単位数			
		人間発達教育専攻	特別支援教育専攻	教科教育実践開発専攻	
				言語系教育、社会系教育、理数系教育、芸術系教育各コース	生活・健康・情報系教育コース
共通科目	教職教養科目	2単位以上			
	教職共通科目	2単位以上			
専攻科目	専門科目	専門領域科目群	12単位以上		
		広領域科目群	2単位以上		
		特別支援教育の理論と実践を学ぶ科目群		12単位以上	
		特別支援教育を多面的に理解する科目群		2単位以上	
		教科教育の理論と方法を学ぶ教科教育科目群			4単位以上
		教育内容の理解を深める教科専門科目群			8単位以上
		教科専門と教科教育の架橋により理論と実践の融合を図る科目群			2単位以上
		複合領域の内容と教育方法を学ぶ科目群			
	探究力を養成する課題研究	各自の研究課題に応じ、担当教員の指導のもとに8単位			
合計単位数		26単位			
最低修得単位数		32単位			

備考：専門科目の修了要件単位数は専攻・コースにより異なります

※上記26単位以外に6単位を共通科目、専門科目、交流科目及びプログラム開設科目から修得します

さらに  
詳しい情報は  
HP▶





## 専攻・コースの概要

### ■人間発達教育専攻

今日の多様化する学校教育の諸課題を踏まえ、教育学、心理学をはじめとする関連諸科学を基盤に、学校教育を核として生涯発達や家庭や地域との連携の視点を含んだ人間の発達教育に関する総合的な教育研究を行います。

コース	教育・研究内容	専門分野
教育コミュニケーションコース	教育のコミュニケーションを成り立たせている諸要因について、哲学的・歴史的・社会的・心理学的観点から多元的・総合的な教育研究を行います。よりよい教育コミュニケーションのモデルを探し、協働的に問題解決に取り組むためのスキルを育成します。	教育哲学、教育史、教育社会学、人格心理学、発達心理学、教授学習心理学
幼年教育・発達支援コース	家庭教育や地域の子育ても視野に入れて、乳幼児及び児童の心身の成長と発達支援、子どもの福祉、幼児教育と小学校教育における教育課程、教育内容等の関連性を重視した、新しい時代にふさわしい幼年教育と発達支援の理論及び実践について教育研究を行います。	乳幼児教育、児童福祉・養護、乳幼児心理、乳幼児発達支援、保育内容・学習支援、子育て支援・世代間交流
学校心理・学校健康教育・発達支援コース	子どものこころとからだの発達支援と教育を究めることを目的として、①学級における発達・学習支援のカウンセリング、②生徒指導と学校教育相談、③学校保健安全と健康・ライフスキル教育、④情動・社会性の研究と発達支援の柱で教育・研究をすすめます。	学校心理学、発達心理学、生徒指導・教育相談、教育社会心理学、発達科学、学校保健学、衛生公衆衛生学、学校健康・安全教育、ライフスキル教育
臨床心理学コース	①教育心理臨床領域、②発達障害心理臨床領域、③学校における精神保健、④トラウマからの回復支援などについて、力動的立場や認知行動的立場を始めとする種々の観点から教育・研究を行います。また、EMDRのトレーニング(Weekend2レベル相当)も受けることができます。	教育臨床心理学、発達障害臨床心理学、学校精神保健、トラウマ回復支援学

### ■特別支援教育専攻

障害児者の発達とその特性の理解に基づいた支援ができるよう、障害児者の教育、心理、生理と病理、指導法の教育研究を行います。また、個別の指導計画を作成し、関係する諸機関との連携をコーディネートできるなど実践的な能力を持った人材の育成に取り組みます。

コース	教育・研究内容	専門分野
障害科学コース	視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、情緒障害、発達障害、重複障害のある児童生徒への支援をめざし、教育・心理・生理および病理・指導法、福祉といった多様な領域からのアプローチやコーディネートを学ぶことにより総合的・専門的な教育研究を行います。	障害児教育学、障害児心理学、障害児発達学、障害児臨床、障害児指導法
発達障害支援実践コース	学校での実践的な現場実習を通して、地域で中核となって活動する特別支援教育担当者の育成を目指しています。具体的には、特別支援教育コーディネーター、発達障害通級指導担当者や通常学級の授業づくりを担う人材を育てます。	地域連携、発達障害の理解と支援、個別の指導計画

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



■教科教育実践開発専攻

教科教育実践開発専攻では、教科に関わる5コースを展開します。教科の特性に応じて専門的な知識や技能を習得し、理論と実践の往還を踏まえた教科の実践的指導能力の向上を目指した教育研究に取り組みます。また、教科の枠を超えた複合領域の内容と教育方法に関する教育研究も行います。

コース	教育・研究内容	専門分野
言語系教育コース	言語の本質、言語能力の発達及び言語表現に関わる諸問題についての教育研究を行います。	国語学、国文学、漢文学、国語科教育、日本語教育学、英語学、英米文学、英語科教育
社会系教育コース	児童・生徒の社会的資質の形成過程や発達課題を踏まえ、人文・社会諸科学及び社会系教科教育に関する理論的・実践的な教育研究を行います。	歴史学、地理学、法学、政治学、社会学、経済学、哲学、倫理学、社会系教科教育
理数系教育コース	「理数科好きの子を育てるには先生自身が理数科好きであって欲しい」という考えのもと、理数系教育コースでは数学・理科諸分野の魅力と楽しさを堪能し、伝えていくことのできるような高い専門性と優れた指導力のある教員を養成することを目指しています。	代数学、幾何学、解析学、応用数学、算数科教育、数学科教育、物理学、化学、生物学、地学、理科教育
芸術系教育コース	学校教科としての音楽と美術の教育、及び芸術教育とこれに関わる諸事項を研究領域とします。芸術的な表現や鑑賞の能力に関する共通の・総合的理解を高めて、現代社会と学校現場の諸問題に、柔軟に対応できる教員の養成を目指します。	音楽科教育学、声楽・合唱、鍵盤楽器、器楽・合奏、作曲・指揮法、音楽学 ----- 図画工作科・美術科教育学、 【美術】学、絵画、彫塑、デザイン、工芸、美術史学
生活・健康・情報系教育コース	生活環境の変化に対応するためには、「健康で豊かな生活を営む力」や「主体的に問題解決する能力」が求められており、これらの力を培うために必要な高度な知識と技能を身に付けるとともに、授業の内容と方法を開発・実践・省察することに取り組みます。また、教科の枠を超えたスポーツ文化、食育、健康、環境、情報（ICT活用）、ものづくり等の複合領域についても教育・研究を行います。	体育学、運動学、学校保健、保健体育科教育、電気、機械、情報基礎、技術科教育、食物学、被服学、家庭経営学、住居学、家庭科教育、情報教育、環境





## 神戸ハーバーランドキャンパス 働きながら学ぶ都心の教育研究拠点

神戸ハーバーランドキャンパス(神戸HLC)は、都市に立地する利点を活かして、在職しながら大学院に通う現職教員をはじめとした社会人に学びの場を提供する『教育研究』拠点、教員養成の改革に向けた関係機関等との取組を推進する『連携・協働』拠点、教育の発展のために教育研究の成果を社会に還元する『情報発信』拠点としての機能を担っています。

また、教師教育の先導的モデルを研究開発する先導研究推進機構の活動拠点として「イノベティブラボ」(通称:神戸ラボ)を置いています。

### ■教育研究

神戸HLCでは、職業を持ちながらも大学院で学ぼうという意欲を持つ現職教員や臨床心理士等の心理専門職を志望する人々の声に応えるため、大学院学校教育研究科の夜間クラス(14コース)を開講しています。また、仕事を終えた学生が夜間に授業を受講できるようアクセスの良いJR神戸駅からほど近い神戸情報文化ビルに設置されており、神戸の港を望むキャンパスで仕事と学業を両立しながら学位を取得することができる充実した環境が整っています。

### ■連携・協働

教員養成の修士レベル化(高度化)や学校教育における諸課題の高度化・複雑化に対応するため、教員養成の改革に向けた教育委員会や公私立大学等との連携・協働を推進する拠点として神戸HLCを活用し、先進的な取組を推進しています。

### ■情報発信

大学の最先端の研究成果を還元するため、神戸HLCでシンポジウムの開催や学校現場のニーズ・課題に対応した研修講座等を開講し、学校教育の発展と学び続ける教員の支援を行っています。また、広く一般の方にも学習機会を提供するなど、地域の交流拠点としての役割も果たしています。



▲授業風景



▲兵教ホール



▲神戸ハーバーランドキャンパス外観

### 臨床心理 相談室

社会に開かれた相談室として、心理的援助を必要とする子ども、成人、家族などを対象に、さまざまな臨床心理学的技法により相談を行っています。

また、児童生徒や保護者への対応に悩んでいる教育関係者へのコンサルテーションにも積極的に取り組んでいます。

なお、主に臨床心理士を目指す臨床心理学コースの大学院生や臨床心理士になるための訓練を受けた相談員が教員の指導の下に相談にあたります。

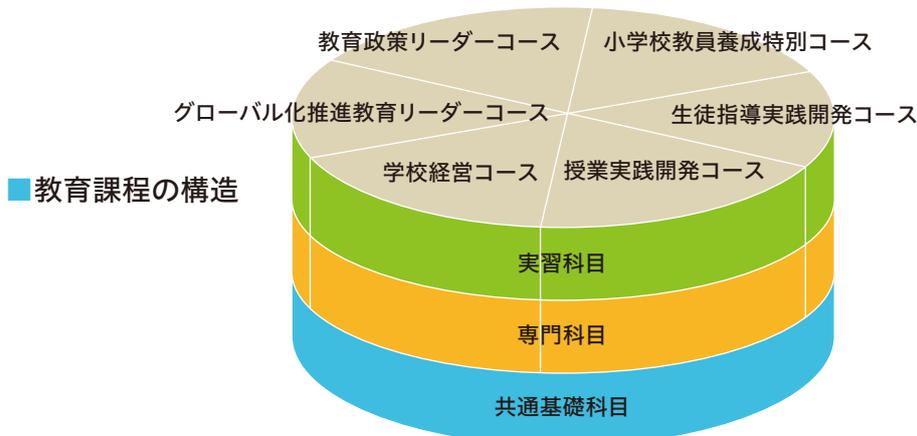


さらに  
詳しい情報は  
HP▼



## 大学院学校教育研究科【専門職学位課程(教職大学院)】

現職教員等を対象に、地域や学校における指導的役割を果たし得る教員等として不可欠な確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダーや地方分権化の中で、ますます重要性を増している地方教育行政のリーダー(教育長、将来の教育長候補および教育行政幹部)を養成しています。また、学部段階で教員としての資質能力を修得した者の中から、さらにより実践的な指導力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新任教員を養成しています。



### 教育課程

区分	概要	修了要件単位数
共通基礎科目	<p>学校現場における中核的・指導的役割を果たし得る教員として必要な基礎的領域として、次の2群6領域を設定し、開設する。 (ただし、教育政策リーダーコース及びグローバル化推進教育リーダーコースについては、I群5領域のみ開設する。)</p> <p>I群: 教員として必要とされる基礎的な次の5領域の授業科目で構成するものとする。</p> <p>(1)「教育課程の編成・実施に関する領域」 (2)「教科等の実践的な指導方法に関する領域」 (3)「生徒指導、教育相談に関する領域」 (4)「学級経営、学校経営に関する領域」 (5)「学校教育と教員の在り方に関する領域」</p> <p>II群: 学校現場からの必要性や現代的な教育課題に対応するものとして、その他の領域として開設する。</p>	12～18単位以上
専門科目	<p>具体的な事例に関する知識を、基礎理論を基に構造的、かつ体系的に捉えることのできる資質・能力を通じて、学校現場の諸課題に取り組むことのできる実践研究力の育成を図る。そのため、科目設定にあたっては、コースごとの特色や指導目標に沿って、学生の関心領域に応じた科目や、学校現場における今日の課題を設定し、その解決の研究に必要な、学問分野の枠を越えた科目として設定し、開設する。</p>	14～24単位以上
実習科目	<p>実践的指導力の強化を図るため、学校や教育行政現場等の教育活動等全体について総合的に体験し、考察するためにコースごとに開設する。</p>	10単位以上/ 14単位以上
備考: 共通基礎科目、専門科目及び実習科目の修了要件単位数はコースにより異なる		計46単位以上

さらに  
詳しい情報は  
HP▶





## 専攻・コースの概要

### ■教育実践高度化専攻

高度専門職業人としての教員及び教育行政職員の養成を目的とします。

- ①特色ある学校づくりに自律的に取り組むことのできる将来の校長や教頭などの学校経営専門職、および指導主事や管理主事などの教育行政専門職を養成します。
- ②教師として自らの授業力を高めるとともに、学校現場における授業改善や授業開発、包括的な生徒指導に関する実践プログラムの開発・実践に中核的な役割を果たすミドルリーダー層の教員を養成します。
- ③新しい学校づくりの担い手となりうる新人教員を養成します。

これらの目的のため、教育と研究の方法は、学校現場の教員と大学教員、大学院生が恒常的に協働して課題を発見し、それを解決するスタイルを貫きます。

コース	教育・研究内容	専門分野
学校経営コース	共通基礎科目に加えて、右記専門分野ごとに専門科目と実習科目(インターンシップ)を体系的に配置し、理論を習得するとともに、多くの事例や実践に触れながら実務的なトレーニングを行います。学生はインターンシップによる学校経営の実務実践を行い、大学院におけるすべての学習活動を集大成して、現任校の「学校改善プラン」を作成します。インターンシップ実施校をはじめとする学校や教育委員会との組織マネジメントや学校評価システム、危機管理などに関する共同研究を推進します。	教育行財政・法規、学校組織開発、学校経営実践、フィールドワーク
授業実践開発コース	授業実践、教材開発、授業研究、研究推進、教師成長研究、教育実践課題解決研究等の講義・演習と実習を通して、学校現場の中核的教員として必要な資質と能力を育成します。授業実践理論の研究、授業実践及び学校の研究課題の探究過程に関する分析等の研究・教育活動を通して、目的の実現を図ります。	授業実践・教材開発、授業研究・研究推進、教師成長研究、授業実践改善研究
生徒指導実践開発コース	いじめ、不登校、校内暴力など児童・生徒の「生徒指導上」の諸課題に、右記の諸領域を総合し、家庭や地域と連携しながら取り組む実践的力のある教員を養成します。そのために、事例研究、アクション・リサーチなど学校現場の実践的諸課題に即した学習を行い、学校における包括的な児童・生徒支援のためのプログラムの開発・実施・評価に取り組みます。	生徒指導、教育相談、キャリア教育、道徳教育、学級経営、特別活動・地域連携
小学校教員養成特別コース	実践的な指導力及び自己の実践を省察・改善できる能力を身に付け、新しい学校づくりを担える小学校教員を養成するために、学級経営や教科等の指導と評価に関わる教育研究の他、アクション・リサーチやケース・スタディなど、体験的・実践的な教育研究を行います。	学級経営、教科等の指導、教育実践研究、教科の授業内容・方法
教育政策リーダーコース	地方分権化社会における新たな地域社会を創り出す教育行政のリーダー育成を、能力、知識、実践のプログラムで構成しています。能力プログラムは、新しい公務員型のマネジメントと理念構築、理念浸透からなるリーダーシップの科目群からなり、知識プログラムは、教育政策、地方自治体、教育行財政、生涯学習や地域との関係等の科目群からなっています。実践プログラムは、自自治体、他自治体に加え海外インターンシップから選択できます。また政策課題研究では、教育行政のリーダーにふさわしい理論的な指導を行います。	教育政策、法規、行財政、マネジメント、リーダーシップ
グローバル化推進教育リーダーコース	国際社会を理解し、論理的思考・表現ができる能力を身につけた学校現場のグローバル化を牽引するスクールリーダーを養成します。共通基礎科目で習得した知識を応用し、専門科目では児童・生徒の国際理解、意識のグローバル化を図るための実践方法の開発に取り組みます。さらに、国内外での実習やフィールドワークを通して、グローバル人材を育成するための実践力を養います。	グローバル基礎、グローバル教育実践、グローバル・フィールドワーク

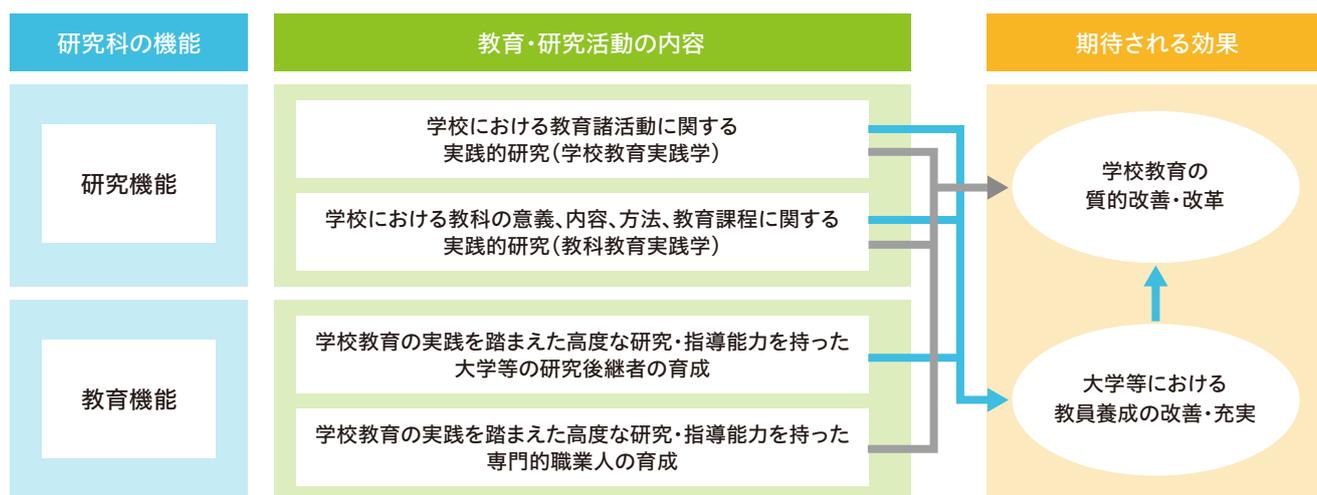


## 大学院連合学校教育学研究科【博士課程】

### 設置の趣旨・目的

学校教育を取り巻く諸問題を背景として、兵庫教育大学、上越教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学が連合して後期3年のみの博士課程を設置し、以下の点を通して教員養成の改善・充実に資することにより、学校教育の質的改善・改革に貢献しようとするものです。

- ①総合的・学際的な視点から学校における教育諸活動及び教科の教育活動に関する実践的研究を通して、今日の教育課題の解決に資する、実践に根ざした学校教育学の一層の推進とその方法の確立を図る。
- ②上記の研究を通して得られた成果を基に、実践的能力を養う教育プログラムを確立し、教員養成大学等に供給する。
- ③学校教育現場の実践的な経験を持ち、実践に根ざした学校教育学を教育研究できる人材を育成し、教員養成大学等に供給する。
- ④実践的研究に裏付けられた研究能力を持って指導的役割を果たす専門的職業人を育成し、都道府県教育委員会の教育センター等の各段階における現職研修の充実に指導的役割を果たす人材を供給する。



### 修士課程、専門職学位課程からの進学

修士課程、専門職学位課程のいずれの課程からの進学も可能です。



### 教育課程

区分	概要	修了要件単位数
総合共通科目	学校教育学に関する幅広い学識と高度の専門性を修得させることを目的とし、4大学の教員が共同で開設する。	4単位
専門科目	個別の研究課題について、多様な専門的視点から総合的に検討し、その課題解決能力を修得させることを目的として開設する。	8単位以上
課題研究	博士論文への発展を期待する上で必要不可欠な演習として、学生の研究課題に即して開設する。	10単位
		計22単位以上



## 専攻・連合講座の概要

### ■学校教育実践学専攻

学校教育諸活動の実践的理論と方法の開発、及び学校教育臨床の体系と方法論の確立を目指します。現実の生きた学校という教育環境とそこから生じる教育事象や日々の教育活動そのものを研究対象とし、幼児・児童・生徒の健全な人格形成という視点から実践の方向や発展を示す開発研究を総合的に行います。

連合講座	教育・研究の内容
学校教育方法連合講座	教育基礎、教育経営及び教育方法の研究分野を包括し、「学校教育実践の内容と方法の開発」を基本概念として、学校教育諸活動の実践的理論と方法論の開発に資する。
学校教育臨床連合講座	生徒指導及び特別支援教育の研究分野を包括し、「学校教育の臨床的発達支援」を基本概念として、学校教育臨床の体系と方法論の開発に資する。

### ■先端課題実践開発専攻

学校教育に関する学術研究の成果と学校現場における質の高い教育実践に裏付けられた実践知とを融合することによって、学校における先端的な諸課題の解決に向けた取組を科学的な基盤の上で展開する実践的プログラムの開発研究を行います。

連合講座	教育・研究の内容
先端課題実践開発連合講座	学校教育に関する基礎的・実践的研究を包括し、「学校教育の緊急かつ複合的課題の解決」を基本概念として、学校における教育実践プログラムの開発を行い、教育実践学の構築に資する。

### ■教科教育実践学専攻

教科教育学、教科専門諸科学の実践に関する原論、内容論、方法論による教育研究を目指します。基礎的原論では、教科の存立根拠や目的を追究し、内容論では、教育実践の視点において教科専門諸科学を統合して教科内容の基礎を固め、方法論では、幼児・児童・生徒の認識や行動の発達の側面を追究しながら教育実践を推進し、さらに、この3者を統合して次世代を先導する創造的な教育課程(実践的原論)を構築します。このように、幼児・児童・生徒の健全な人間形成という視点から教科に関わる実践の方向や発展を示す研究を総合的に行います。

連合講座	教育・研究の内容
言語系教育連合講座	国語及び英語の研究分野を包括し、高次の「言語表現」を基本概念とした専門的、体系的教育研究を行い、学校教育における言語系教育の質的向上を図り、新しい教育課程の開発に資する。
社会系教育連合講座	社会科学の研究分野を包括し、「社会認識」を基本概念とした専門的、体系的教育研究を行い、学校教育における社会系教育の質的向上を図り、新しい教育課程の開発に資する。
自然系教育連合講座	数学及び理科の研究分野を包括し、「科学的創造性」及び「科学力の獲得」を基本概念とした専門的、体系的教育研究を行い、学校教育における自然系教育の質的向上を図り、新しい教育課程の開発に資する。
芸術系教育連合講座	音楽及び美術の研究分野を包括し、「芸術表現」及び「芸術鑑賞」を基本概念とした専門的、体系的教育研究を行い、学校教育における芸術系教育の質的向上を図り、新しい教育課程の開発に資する。
生活・健康系教育連合講座	保健体育、技術及び家庭の研究分野を包括し、「環境への適応と醸成」を基本概念とした専門的、体系的教育研究を行い、学校教育における生活・健康系教育の質的向上を図り、新しい教育課程の開発に資する。

## 連合大学院大阪サテライト

大学院連合学校教育学研究科(博士課程)における教育研究施設として、大阪市北区中之島にある大阪大学中之島センター内に「連合大学院大阪サテライト」が設置されています。

このサテライトの目的は、連合大学院の構成大学である兵庫教育、上越教育、岡山、鳴門教育の各大学の研究科教員と各大学に配属された博士課程学生の相互に対し、交通の便のよいところで授業や研究指導が時間的、空間的に自由に行える環境を提供する他、連合大学院の特色を生かした共同研究プロジェクトの拠点として活用することにあります。

さらに、同センターに入居する大学として他の入居大学との連携を図りながら、地域社会に対して教育研究成果の還元や情報発信を行っていくことも重要な使命として位置づけています。



▲大阪大学中之島センター

# Facilities

## 附属図書館

学校教育における理論的実践的な教育研究に資する資料を重点的に収集し、学生・教職員の利用に供しています。平日夜間開館(22時まで)及び土日祝日開館を実施し、また一般市民にも開放しています。

館内には、個人学習用スペースの他、ラーニングcommonsやグループプラボなどのアクティブラーニングスペースが整備され、無線LANなど情報利用環境も充実しています。

館内に設置された教材文化資料館では、本学が収集してきた歴史的に価値の高い資料や教育実践に関わる教材・教具を使った企画展を定期開催しており、期間中は自由に観覧できます。

また、本学のミッションの一つである「教育研究成果の国内外への発信」の一翼を担うべく、学内の教育研究成果物をインターネット上に公開する学術情報リポジトリ事業も行っています。

附属図書館の  
さらに詳しい情報は  
HP▶



教材文化資料館の  
さらに詳しい情報は  
HP▶



▲附属図書館外観



▲ラーニングcommons「PAO」

## 蔵書数

平成30年3月31日現在

図書	和書	洋書	計
総記	18,541	2,931	21,472
哲学	17,331	9,218	26,549
歴史	25,402	2,135	27,537
社会科学 (教育)	124,501 (88,050)	27,811 (21,658)	152,312 (109,708)
自然科学	27,666	22,500	50,166
技術	9,154	1,631	10,785
産業	4,094	338	4,432
芸術	22,881	8,280	31,161
言語	10,713	7,211	17,924
文学	20,757	4,041	24,798
総計	281,040	86,096	367,136
所蔵雑誌	2,477	1,249	3,726

## 利用状況

平成29年度

開館日数	339	
入館者数	129,170	
貸出人数	教職員	843
	学生	10,217
	学外者	657
	計	11,717
貸出冊数	教職員	2,399
	学生	25,669
	学外者	1,991
	計	30,059
文献複写件数	受付	382
	依頼	1,366



▲教材文化資料館



## 教育実習総合センター

教育実習総合センターは、学校教育に関わる今日的課題に即する実践的研究を推進し、学生に対し効果的な実践的教育を行うとともに、学校現場、教育委員会及び大学院に教職課程を持つ兵庫県内の国公立大学との連携・協働による教員養成のための基盤形成を図り、教員養成の高度化の推進に資することを目的としています。

本センターには、次の2つの部門が置かれ、次に掲げる業務を分掌させるとともに、それぞれが連携・協働し、事業を展開しています。



▲教育実習総合センターのスタッフ

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



## 教職キャリア開発センター

学生への就職支援及びキャリア形成支援を積極的・継続的に展開するため教職キャリア開発センターが設置されています。同センターは、本学のミッションの一つである「実践力に優れた新人教員の養成」の遂行の一翼を担うべく、学生が教員・社会人となった後も、豊かで幅広い人間性を育み、主体的に学ぶ教師、すなわち「学び続ける教員」を育成し、入学から卒業・修了まで、さらには卒業・修了後も見通したキャリア開発を行っています。具体的には、(1)就職支援・キャリアデザイン、(2)ボランティアを中心として、「学び続ける教員」になる土台を作るため、次のような多面的な支援を行っています。



▲集団模擬面接

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



### 大学院学校教育研究科 実地研究支援部門

- 連携協力校等における実習の効果的な運営に関する事
- 連携協力校等との連携協力による共同研究に関する事
- 専門職学位課程学生の質保証のための修学支援に関する事
- 連携協力校連絡協議会の企画及び立案に関する事
- 修士課程における教員としての実践的指導力を高めるための学校等における大学院レベルの実習の効果的な運営に関する事
- 教職アドバンスプログラム受講学生の修学支援に関する事

### 学校教育学部 実地教育支援部門

- 実地教育に係る研究に関する事
- 実地教育の企画、立案及び学生指導等に関する事
- 実地教育の効果的な運営に関する事

### 就職支援・キャリアデザイン部門

- キャリア開発指導員やキャリアアドバイザーによる進路・就職相談・指導の実施
- 外部講師を招いた教員採用試験筆記対策講座
- 教員採用試験模擬面接(個人面接、集団面接、集団討議)の実施
- 大学教員による教員採用試験対策の実技指導
- 学習意欲や就職への意識向上のための就職対策強化研修の実施
- 教員採用試験合格者による報告会
- 大学院に所属する現職教員を講師に迎えた講座
- キャリアデザイン講座の実施
- 教職等就職に関する学生による学習会等の自主的活動やピアサポートの奨励・育成
- 教育委員会等との連携による教職キャリア支援プログラムの開発

### ボランティア部門

- ボランティア活動の支援



▲キャリア開発指導員による個別指導

### 発達心理臨床研究センター

発達心理臨床研究センターは、発達心理臨床ないし心理臨床に関する臨床的実践的教育の研究を関連諸機関と連携を図りつつ推進するとともに、発達心理臨床・心理臨床に関する高度な知識・技能を有する学校教員、指導者の養成に資することを目的として設置されました。

このセンターには、「発達障害臨床研究分野」、「学校心理臨床研究分野」、「トラウマ回復支援研究分野」の3分野が置かれています。

また、心理療法機関としては、次のような領域に特に力をいれています。

- ① 発達相談
- ② 児童生徒の心理相談
- ③ 被害者相談

本学の人間発達教育専攻臨床心理学コースは、(財)日本臨床心理士資格認定協会から第1種大学院に指定されており、本センターはその心理臨床実習の場に位置付けられています。



▲発達心理臨床研究センター プレイルーム

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



### 情報処理センター

情報処理センターは、本学における学内共同利用施設として、キャンパスネットワーク(HUNET)及び情報教育実習室や様々な全学共同利用システムの運用を通じて以下の業務を行っています。

- ① 電子メール、Web等のネットワークを利用したコミュニケーション支援
- ② 情報教育実習室を利用した情報教育の支援
- ③ 学術情報システム(附属図書館設置のデータベースシステム)教育情報処理システム(B0対応カラープロッタプリンタ、A0対応大型カラーネットワークスキャナ)など、全学共同利用システムによる研究・教育の支援



▲情報処理センター(外観)

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



### 保健管理センター

教職員及び学生の定期健康診断、応急措置、健康相談、精神保健相談、その他教職員及び学生の保健管理に関する業務を行うことを目的とする施設として、保健管理センターが設置されています。



▲保健管理センター



## 社会連携センター

本学の教育研究の成果を広く社会に還元するため、教育委員会をはじめ自治体等地域との連携協力及び交流事業を推進し、本学の特色と知見を活かして、地域の教育、学術、文化の進展並びに、社会貢献に資することを目的として、社会連携センターを設置しています。

地域・社会へ貢献するため、さまざまな事業を推進するとともに、地域の窓口としての役割を果たしています。



▲小野市との連携による地域連携推進事業  
「理科&科学の地域でのサイエンス祭」



▲学校管理職・教育行政職特別研修  
(ニューリーダー特別研修)



▲大学と連携した英語指導力向上事業

## 教育委員会・地域・社会との連携協力

本学が取り組む社会連携事業は、教育研究の成果を社会に還元し、特に教員養成大学としての特色を活かしながら、学校現場における課題解決の支援など教育機関のニーズに応えることを目指しています。地域や教育委員会等との連携協力の推進を図り、地域社会における教育、学術、文化の進展に寄与することで、本学の教育研究の活性化を図っています。

主な事業は、次のとおりです。

I 研修支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教員免許状更新講習</li> <li>■ 教員免許法認定公開講座</li> <li>■ 現職教員研修支援プログラム開発事業(研修講座の開発・実施)(※1)</li> <li>■ 現代的教育課題に対する研修(※2)</li> <li>■ その他教育委員会等が行う研修・講習等の実施協力(※3)</li> </ul>
II 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育委員会・近隣自治体等との連携協力協定に基づく事業</li> <li>■ 教職大学院連携協力協定に基づく事業</li> <li>■ 高大連携教育協定に基づく事業</li> <li>■ 法人・団体等との連携協力協定に基づく事業</li> </ul>
III 大学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大学間連携共同教育推進事業</li> <li>■ 教員養成に関する懇談会</li> <li>■ 大学コンソーシアムひょうご神戸に関する事業</li> </ul>
IV 地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スクール・パートナーシップ事業(大学教員による出張講座)</li> <li>■ 公開講座・産学官連携事業・地域等の窓口・情報発信</li> </ul>

(※1)

①学校管理職・教育行政職特別研修(ニューリーダー特別研修)兵庫県教育委員会と連携し、県内の公立の新任教頭や新任指導主事を対象に実施

②兵庫教育大学研修講座(平成30年度は23講座実施)中堅教諭等資質向上研修等の選択研修として提供

(※2)

教師力を育てる指導主事の力量形成プログラム開発-教員育成指標との関連を重視して-(明石市教育委員会・伊丹市教育委員会・西宮市教育委員会)/新時代対応学校管理職マネジメント等研修/小学校教員外国語活動支援事業(稲美町、猪名川町、加東市等)

(※3)

兵庫県教育委員会等との共催研修/兵庫県立高等学校中堅教諭等資質向上研修の実施協力/兵庫県・神戸市教育職員免許法認定講習の指導大学

### 教育委員会等との連携による研修

- 22年度より兵庫県教育委員会等と連携研修を開催
- 16年度より学校管理職・教育行政職特別研修を毎年度開催
- 新たな研修として26年度から地域の英語教育を推進するリーダー養成のための研修を開催

### 教員のための研修講座

- 兵庫県・神戸市の「中堅教諭等資質向上研修」としても提供
  - ・ 教師のためのコミュニケーション論
  - ・ 子どもの声を受け止めるということ
  - ・ やってみよう!楽しい理科の実験・実技
  - ・ 小学校の先生自身が楽しむ理科
  - ・ 部活動の指導と運営

さらに  
詳しい情報は  
HP▼



### 教員免許状更新講習

本学では、教員免許更新制の目的にしたがい、兵庫県内唯一の教員養成を目的とした国立大学としての使命を果たすべく、これまでに大学院修士課程及び専門職学位課程等で培ってきた実践に根ざした教育・研究の成果を活かしながら、教員が教育専門職として自らの知識技能を多面的に省察し向上できるよう、平成21年度から教員免許状更新講習を実施しています。

本学の教員免許状更新講習は、次のような特徴を持っており、平成30年度は兵庫県内の現職教員を中心に、約7,400名の対象者が受講します。

- ①今日的な学校教育課題（いじめ、不登校、体罰、特別支援教育等）を踏まえた講習
- ②教員免許法認定公開講座との両認定が可能な講習
- ③教育委員会や学会等の教育に関する機関との共催や連携による講習
- ④本学の名誉教授や大学院修了生等を講師陣に招いた講習
- ⑤本学のキャンパス（加東及び神戸）だけでなく、学外施設を活用した講習



▲学外施設での講習



▲実験による講習

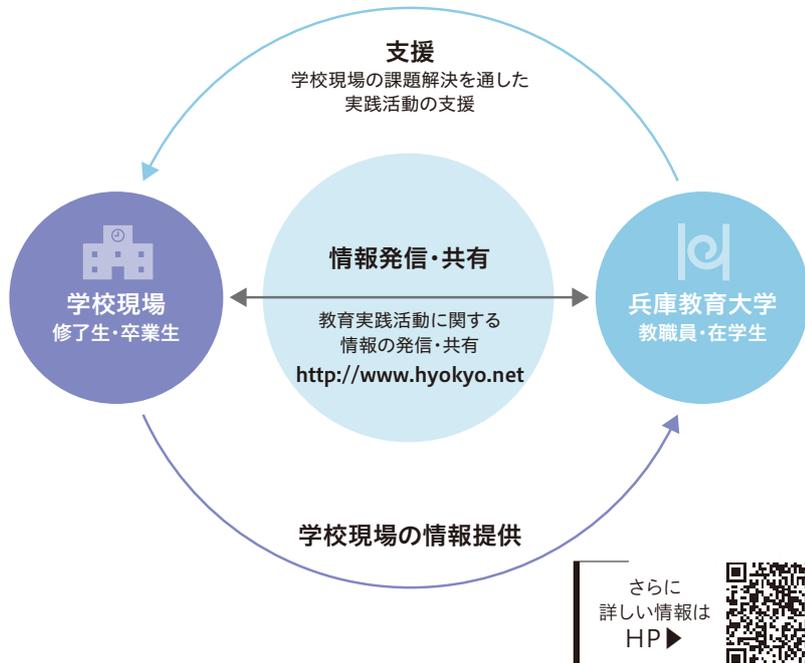
## 都道府県連携推進本部と同窓会等

都道府県連携推進本部は、大学と大学院学校教育研究科修了生、学校教育学部卒業生及び附属学校教員在職経験者との連携を推進することにより本学の教育研究の進展並びに教育現場の活性化に貢献することを目的にして、平成21年4月に設置されました。

大学院同窓会・学部同窓会は、全国各地の教育現場で活躍する会員相互の親睦を図るとともに研究会などを開催し、様々な教育課題の解決に向けた取り組みを行っています。

また、本学では、大学院に全国から多くの現職教員を受け入れるため、教育現場が必要とする教育内容や教育方法の改善を行うなど大学改革を推進するとともに、本学での教育研究の成果は、教育実践ネットワークなどを通じて修了生に還元する取り組みを行っています。

都道府県連携推進本部は、これらの取り組みを支援し、相互の連携を積極的に推進する母体として諸事業を展開しています。



▲第37回大学院同窓会総会・研究大会関東大会総会・研修会の様子



▲平成30年学校教育学部同窓会総会・研修会の様子（集合写真）



## 附属学校園

大学附属として附属幼稚園、附属小学校及び附属中学校を設置しています。附属学校園は教育基本法、学校教育法及びその他の関係法令に従って、幼児・児童・生徒の心身の発達を助成する保育や心身の発達に応じた初等・中等教育を行うとともに、大学における幼児・児童・生徒の教育に関する研究への協力及び学生の実地教育(教育実習)にもあたっています。さらに、大学の教員と附属学校園の教員及び公立・私立学校の教員が協力して、学校教育に関する研究を共に進めていくなどの取り組みを実施しています。

平成30年5月1日現在

学校		入学(園)定員	総定員	学級数	学年別幼児・児童・生徒数						
幼稚園	3歳児	40	160	6	3歳児	4歳児	5歳児				計
	4歳児	20			27	32	44				103
小学校		105	630	18	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
					78	87	93	72	91	64	485
中学校		120	360	9	1学年	2学年	3学年				計
					99	111	119				329
合計		285	1,150								917

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



## やまくにプラザ

地域や附属学校園と連携して教育研究活動を行うことを目的とする学内共同の教育研究施設として、「やまくにプラザ」が設置されています。

同プラザは、山国地区の附属学校園に隣接しており、学部学生の実地教育(教育実習)の支援を行う「教育実習総合センター山国地区分室」、子育て支援コーディネーター育成カリキュラムの研究開発を行う「就学前教育カリキュラム研究開発室」及び働く保護者を支援し、児童の生活・学習指導を行う「アフタースクール」などの教育研究施設を備え、附属学校園を含めた学内外との連携を重視した実践の拠点として機能しています。

## 子育て支援

### 子育て支援ルーム「かとうGENKi」

文部科学省特別経費プロジェクト採択事業「大学の機能強化としての就学前教育専門職養成の高度化と幼小連携を含めた総合的カリキュラム開発」の一環として開設。乳幼児の健やかな発達を育むために、「社会で子育てしよう」という試みを行っているところです。原則週3日、未就園児とその保護者に無料で開放しています。



#### 利用実績(26年10月～30年4月)

利用登録▶941組 | 利用者数▶21,354組 | 開室日数▶434日

### アフタースクール

学び、働く保護者の支援と、附属小学校の児童に放課後等における生活・学習指導を実施し、また異学年の児童と一緒に活動することで社会性を育むことを目的としています。



#### 許可者数

27年度 ▶40人 | 28年度 ▶50人 | 29年度 ▶52人 | 30年度 ▶61人

\*延べ人数。夏休みアフタースクールの許可者を含まない。

### 附属幼稚園預かり保育

学び、働く保護者の支援と、附属幼稚園の園児に保育時間後等のふさわしい過ごし方を提供することにより、園児の健やかな成長を促すことを目的として、平成28年度から実施しています。



#### 利用実績・予定数

29年度▶16人 | 30年度▶30人

# International Exchange

## グローバル教育センター

グローバル教育センター(Global Education Center)は、本学の国際交流事業を担う中心組織として学生交流および学術交流の推進、教育研究面での国際活動の充実を図り、本学の特色への取組を通じて、英語力・コミュニケーション能力や学校教育現場における実践力を育成することを目的として設置されています。

国際社会に開かれた大学として留学生および外国人研究者の積極的な受入や学生の海外派遣の支援、促進を図ることで、本学のグローバル化の推進に取り組んでいます。



▲グローバル教育センター

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



## 留学生数

平成30年5月1日現在

国・地域名	学部	大学院			特別聴講学生	合計
		修士課程	博士課程	研究生		
中華人民共和国		6	6	4	18	34
台湾		1			4	5
大韓民国		1			4	5
ベトナム社会主義共和国					2	2
モンゴル国		1			1	2
ロシア連邦		1				1
イタリア共和国		1				1
ハンガリー				1		1
エルサルバドル共和国				1		1
ウズベキスタン共和国				1		1
クロアチア共和国				1		1
マラウイ共和国				1		1
合計		11	6	9	29	55



▲ベトナム現地体験研修プログラム



▲欧州文化研修プログラム(フィンランド)

## 海外短期派遣プログラム派遣実績(平成29年度)

プログラム名	日程	学部生	大学院生
DHPプログラム(台湾屏東)	H29.8.21~8.25	10	
オーストラリア英語研修プログラム	H29.9.23~10.1	10	2
欧州文化研修プログラム(フィンランド)	H29.9.23~9.29	3	8
ベトナム現地体験研修プログラム	H30.3.11~3.15	2	4
欧州文化研修プログラム(チェコ)	H30.3.13~3.20	1	3
合計		26	17



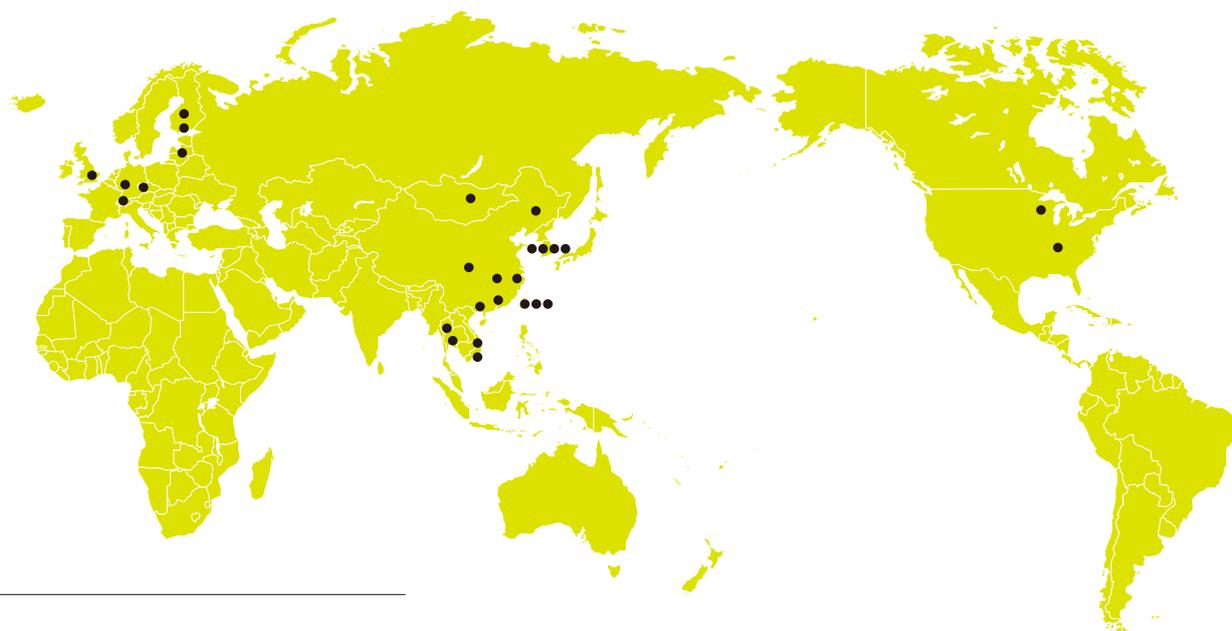
▲オーストラリア英語研修プログラム



## 交流協定大学

平成30年5月1日現在

	国・地域名	大学名	
アジア	タイ王国	ピブソンクラム地域総合大学	19
		チュラロンコン大学	
	大韓民国	ソウル教育大学校	
		大邱教育大学校	
		京仁教育大学校	
		全州教育大学校	
	台湾	屏東大学	
		台中教育大学	
		台北教育大学	
		高雄師範大学	
	中華人民共和国	海南師範大学	
		華南師範大学	
		湖南理工学院	
		浙江師範大学	
寧波大学			
東北師範大学			
ベトナム社会主義共和国	バリア・ブンタウ教員養成大学		
	ダナン大学		
モンゴル国	モンゴル国立教育大学		
欧州	英国(グレートブリテン及び北アイルランド連合王国)	ロンドン大学(IOE)	7
	スイス連邦	ルツェルン教育大学	
	ドイツ連邦共和国	ハイデルベルク教育大学	
	フィンランド共和国	ヘルシンキ大学	
		ユヴァスキュラ大学	
	ラトビア共和国	リガ教員養成教育経営大学	
チェコ共和国	プラハ・カレル大学教育学部		
北米	アメリカ合衆国	ヴァンダービルト大学ピーボディ教育学部	2
		ウイスコンシン大学オークレア校	
合計			28



## Statistics

## 教職員数

(小数字は男性,女性の内数) 平成30年5月1日現在

	学長	理事	監事	副学長	計
学長・理事・監事・副学長	1 (1,0)	3 (2,1)	2 (1,1)	2 (2,0)	8 (6,2)

	職員	計
事務局 大学改革推進室	3 (3,0)	3 (3,0)
総務部	49 (31,18)	49 (31,18)
教育研究支援部	57 (40,17)	57 (40,17)
小計	109 (74,35)	109 (74,35)

	大学教員				特任教員		特命教員	特定教員	計
	教授	准教授	講師	助教	特任教授	特任准教授	特命助教	特定助教	
教授等 大学院学校教育研究科	74 (60,14)	52 (38,14)	8 (1,7)	8 (7,1)	1 (1,0)	1 (1,0)		1 (1,0)	145 (109,36)
大学院連合学校教育学研究科	1 (1,0)								1 (1,0)
発達心理臨床研究センター	[1] [1,0]	[2] [0,2]						[1] [1,0]	[4] [2,2]
教育実習総合センター	[2] [2,0]								[2] [2,0]
教職キャリア開発センター	[6] [3,3]	[12] [9,3]	[2] [0,2]	[3] [3,0]					[23] [15,8]
情報処理センター		[1] [1,0]							[1] [1,0]
保健管理センター	[2] [2,0]								[2] [2,0]
グローバル教育センター	[4] [4,0]	[2] [2,0]	[1] [0,1]	[1] [1,0]					[8] [7,1]
社会連携センター	[1] [0,1]	[4] [3,1]							[5] [3,2]
就学前教育カリキュラム研究開発室							1 (0,1)		1 (0,1)
教育政策トップリーダー養成カリキュラム研究開発室	2 (2,0)	3 (3,0)		1 (1,0)					6 (6,0)
グローバル化推進教育リーダー養成カリキュラム研究開発室		1 (0,1)		3 (1,2)	2 (2,0)				6 (3,3)
先進的英語教育実践モデル研究開発室							1 (1,0)		1 (1,0)
教員養成高度化センター設置準備室				2 (2,0)					2 (2,0)
小計	77 [16] (63,14) [12,4]	56 [21] (41,15) [15,6]	8 [3] (1,7) [0,3]	14 [4] (11,3) [4,0]	3 (3,0)	1 (1,0)	2 (1,1)	1 [1] (1,0) [1,0]	162 [45] (122,40) [32,13]

※[ ]は各センターの兼務教員の人数を示す。

	教員	計
附属学校園 幼稚園	8 (1,7)	8 (1,7)
小学校	27 (19,8)	27 (19,8)
中学校	18 (12,6)	18 (12,6)
小計	53 (32,21)	53 (32,21)

合計

332  
(234,98)

## ■その他の職員

	人数
非常勤講師	113(246)
学校医	3
学校歯科医	3

	人数
学校薬剤師	1
カウンセラー	12

平成30年5月1日現在

	人数
ティーチング・アシスタント	12(28)
事務補佐員等	96

※( )内は平成29年度実績。



## 学生数

### ■ 学校教育学部(学校教育教員養成課程)

平成30年5月1日現在

区分	入学定員	収容定員	在学生数				
			1年次	2年次	3年次	4年次	計
学校教育専修	160	640	66(51/-)	66(56/-)	65(53/-)	71(58/-)	268(218/-)
教科・領域教育専修			103(58/-)	104(52/-)	102(53/-)	111(52/-)	420(215/-)
合計	160	640	169(109/-)	170(108/-)	167(106/-)	182(110/-)	688(433/-)

### ■ 大学院学校教育研究科

平成30年5月1日現在

区分	入学定員	収容定員	在学生数			
			1年次	2年次	3年次	計
<b>【修士課程】</b>						
人間発達教育専攻	80	160	84(58/-)	125(77/-)		209(135/-)
特別支援教育専攻	30	60	24(10/1)	35(21/3)		59(31/4)
教科教育実践開発専攻(教育内容・方法開発専攻、教科・領域教育学専攻)	90	180	90(36/5)	105(41/2)		195(77/7)
計	200	400	198(104/6)	265(139/5)		463(243/11)
<b>【専門職学位課程】</b>						
教育実践高度化専攻	100	230	86(21/-)	86(32/-)	16(6/-)	188(59/-)
計	100	230	86(21/-)	86(32/-)	16(6/-)	188(59/-)
合計	300	630	284(125/6)	351(171/5)	16(6/-)	651(302/11)

### 参考 在学者の教職経験 平成30年5月1日現在

#### ◎ 大学院学校教育研究科(修士課程)

区分	1年次	2年次	計
現職教員	67	101	168
10年未満	16	23	39
10年以上20年未満	34	45	79
20年以上	17	33	50
その他	131	164	295
保育士(現職)	3	4	7
教職・保育士経験者	19	19	38
その他	109	141	250
合計	198	265	463

#### ◎ 大学院学校教育研究科(専門職学位課程)

区分	1年次	2年次	3年次	計
現職教員	44	43	0	87
10年未満	3	6	0	9
10年以上20年未満	22	16	0	38
20年以上	19	21	0	40
その他	42	43	16	101
教職経験者	1	5	1	7
その他	41	38	15	94
合計	86	86	16	188

### ■ 大学院連合学校教育学研究科(博士課程)

平成30年5月1日現在

区分	入学定員	収容定員	在学生数			
			1年次	2年次	3年次	計
学校教育実践学専攻	10	30	10(5/2)	14(7/1)	27(12/-)	51(24/1)
先端課題実践開発専攻	5	15	7(3/-)	6(4/-)	13(6/-)	26(13/-)
教科教育実践学専攻	17	51	18(3/1)	19(5/2)	37(21/-)	74(29/3)
合計	32	96	35(11/3)	39(16/-)	77(39/-)	151(66/6)

### 参考 構成大学別の学生数

平成30年5月1日現在

構成大学	1年次	2年次	3年次	計
兵庫教育大学	15	13	27	55
上越教育大学	12	10	12	34
岡山大学	3	9	20	32
鳴門教育大学	5	7	18	30
合計	35	39	77	151

### ■ 研究生等(平成29年度)

区分	計
研究生	8(5/7)
大学院学校教育研究科	8(5/7)
大学院連合学校教育学研究科	9(5/1)
科目等履修生	31(13/-)
学校教育学部	31(13/-)
大学院学校教育研究科	3(2/-)
特別聴講学生	23(20/23)
学校教育学部	23(20/23)
大学院学校教育研究科	0(0/-)
特別研究学生	0(0/-)
大学院学校教育研究科	0(0/-)
大学院連合学校教育学研究科	0(0/-)
合計	74(45/31)

※在学生数の( )内に[女子/留学生]を内数で示す。

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



入学者数

平成30年5月1日現在

■ 地域別入学者数

**近畿**

学部	144(94)人
修士・専門職	214(99)人
博士課程	15(5)人

**中国**

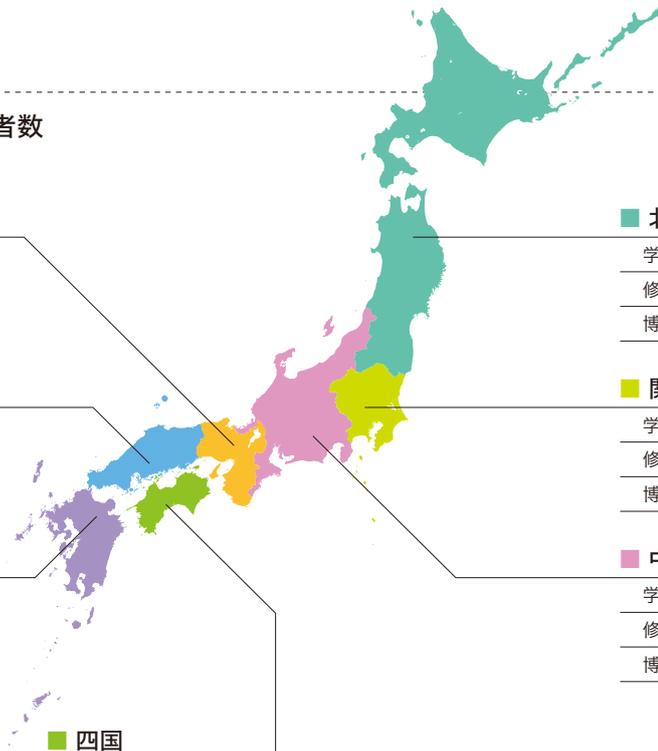
学部	7(4)人
修士・専門職	20(6)人
博士課程	3(0)人

**九州・沖縄**

学部	3(2)人
修士・専門職	8(4)人
博士課程	0人

**外国**

学部	0人
修士・専門職	7(4)人
博士課程	3(2)人



**四国**

学部	6(4)人
修士・専門職	3(1)人
博士課程	4(1)人

**北海道・東北**

学部	1(1)人
修士・専門職	6(2)人
博士課程	0人

**関東**

学部	1(0)人
修士・専門職	12(4)人
博士課程	2(0)人

**中部**

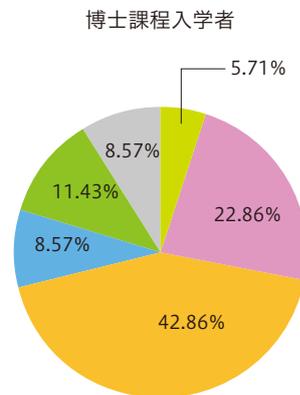
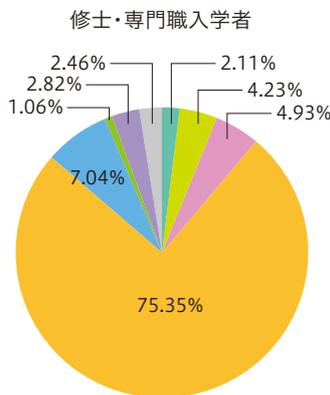
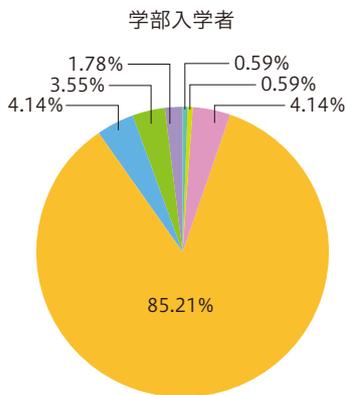
学部	7(4)人
修士・専門職	14(5)人
博士課程	8(3)人

合計

学部	169(109)人
修士・専門職	284(125)人
博士課程	35(11)人

※( )は女子の内数を示す。

■ 地域別入学者数割合



さらに  
詳しい情報は  
HP▶





## 卒業生・修了者数等

### ■ 学校教育学部(初等教育教員養成課程)

区分	昭和60～平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
学校教育専修	1,326	64	54	55	48	1,547
幼児教育専修	317	0	0	0	0	317
教科・領域教育専修	3,825	104	115	114	119	4,277
合計	5,468	168	169	169	167	6,141

### ■ 大学院学校教育研究科(修士課程・専門職学位課程)

(下段の数字は現職職員の内数)

区分	昭和56～平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
修士課程	8,129	219	210	214	185	8,957
	5,540	75	65	74	66	5,820
学校教育学専攻	2,557	3	0	0	0	2,560
	1,891	0	0	0	0	1,891
幼児教育専攻	197	-	-	-	-	197
	69	-	-	-	-	69
特別支援教育学専攻	742	-	-	-	-	742
	453	-	-	-	-	453
教科・領域教育学専攻	4,174	1	0	0	1	4,176
	2,951	1	0	0	1	2,953
学校指導職専攻	15	-	-	-	-	15
	15	-	-	-	-	15
教育実践高度化専攻	69	-	-	-	-	69
	25	-	-	-	-	25
人間発達教育専攻	151	83	91	89	87	501
	60	31	23	27	33	174
特別支援教育専攻	60	26	26	28	28	168
	29	12	12	12	13	78
教育内容・方法開発専攻	164	106	93	97	11	471
	47	31	30	35	2	145
教科教育実践開発専攻	-	-	-	-	58	58
	-	-	-	-	17	17
専門職学位課程	362	69	96	76	96	699
	183	35	46	34	41	339
教育実践高度化専攻	362	69	96	76	96	699
	183	35	46	34	41	339
合計	8,491	288	306	290	281	9,656
	5,723	110	111	108	107	6,159

### ■ 大学院連合学校教育学研究科(博士課程)

(下段の数字は現職職員の内数)

区分	平成10～25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
学校教育実践学専攻	73	4	5	3	6	91
	36	2	4	2	4	48
先端課題実践開発専攻	7	2	2	3	2	16
	7	2	2	3	1	15
教科教育実践学専攻	158	9	8	10	8	193
	81	7	6	10	6	110
合計	238	15	15	16	16	300
	124	11	12	15	11	173

### ■ 学位授与者数(博士)

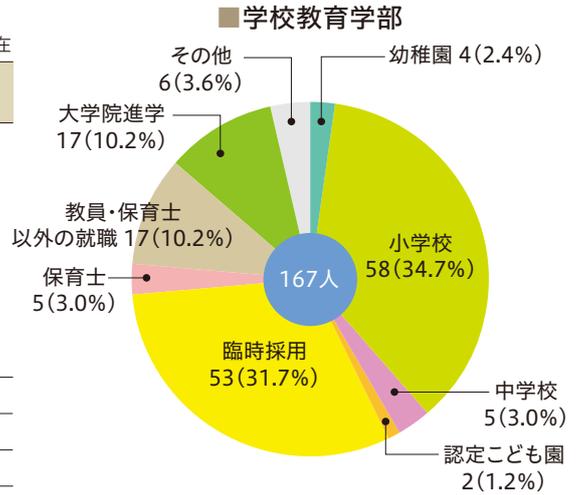
区分	平成10～25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
博士(学校教育学)課程修了	198	15	15	16	16	260
博士(学術)課程修了	40	0	0	0	0	40
博士(学校教育学)論文提出	99	7	12	6	5	129
博士(学術)論文提出	9	0	0	0	0	9
合計	346	22	27	22	21	438

就職状況

学校教育学部(初等教育教員養成課程)(平成29年度)

平成30年5月1日現在

区分		就職状況	
教員	幼稚園	4	122 (73.0%)
	小学校	58	
	中学校	5	
	高等学校	0	
	特別支援学校	0	
	認定こども園	2	
	臨時採用	53	
保育士	5	3.0%	
教員・保育士以外の就職	17	10.2%	
大学院進学	17	10.2%	
その他	6	3.6%	
合計	167		

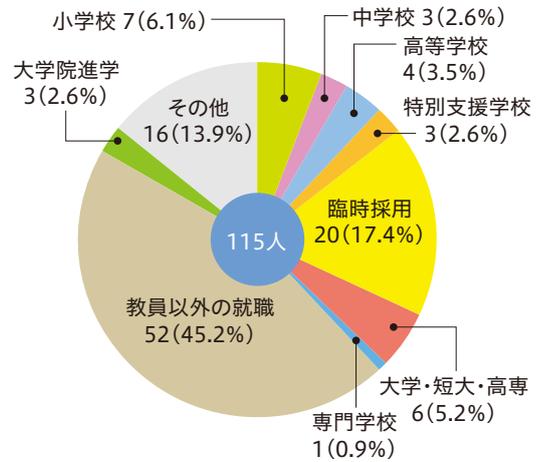


大学院学校教育研究科(修士課程・専門職学位課程)(平成29年度)

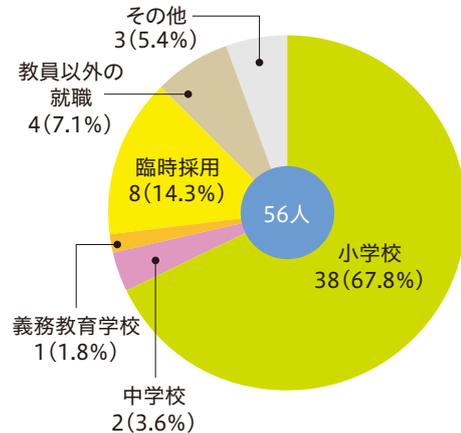
平成30年5月1日現在

区分	就職状況					
	修士課程		専門職学位課程			
現職教員	幼稚園	3	70 (100%)	0	40 (100%)	
	小学校	24		15		
	中学校	15		4		
	高等学校	12		8		
	中等教育学校	1		0		
	特別支援学校	6		2		
	臨時採用	3		0		
	大学・短大・高専	0		3		
	教育委員会等	1		8		
	その他	5		0		
現職教員以外	幼稚園	0	44 (38.3%)	0	49 (87.5%)	
	小学校	7		38		
	中学校	3		2		
	義務教育学校	0		1		
	高等学校	4		0		
	特別支援学校	3		0		
	臨時採用	20		8		
	大学・短大・高専	6		0		
	専門学校	1		0		
	教員以外の就職	52		4		7.1%
	大学院進学	3		0		0.0%
その他	16	3	5.4%			
合計	185	96				

修士課程(現職教員以外)



専門職学位課程(現職教員以外)



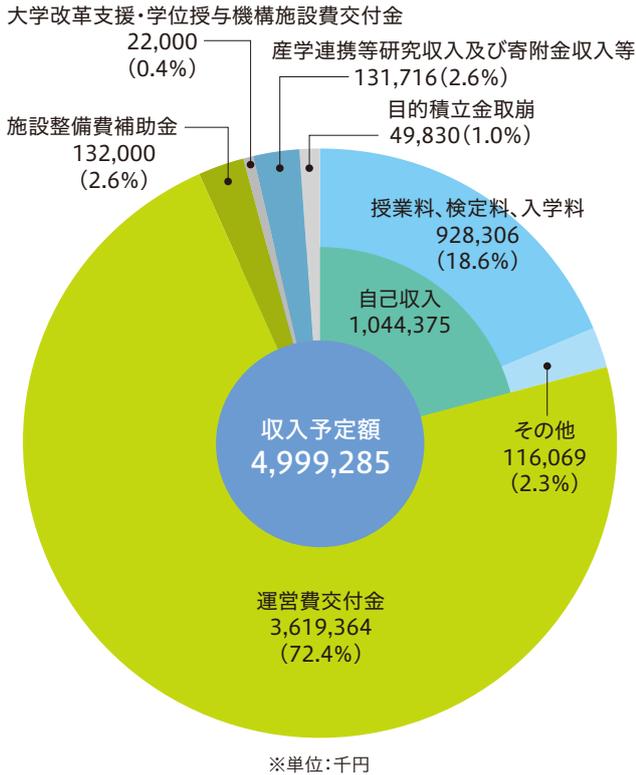
さらに  
詳しい情報は  
HP▶



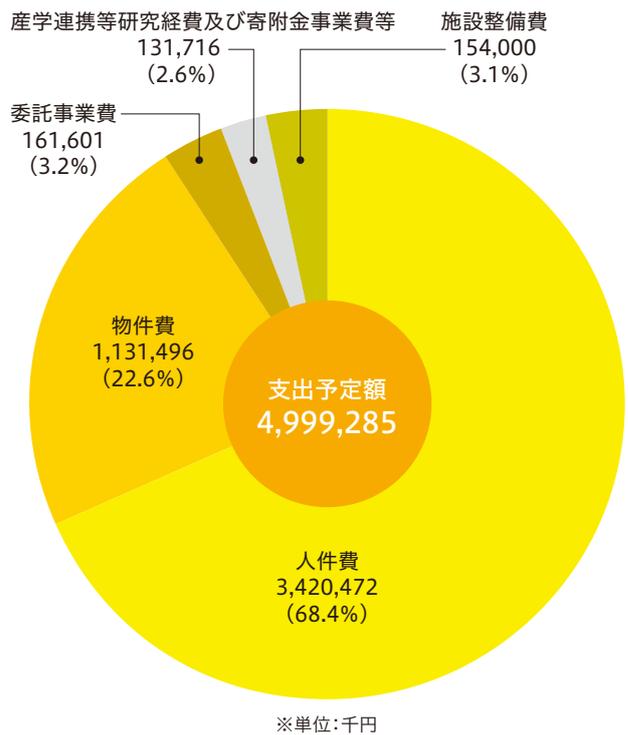


## 財政

### 収入(平成30年度予算)



### 支出(平成30年度予算)



### 外部資金受入れ状況(平成29年度)

#### ■ 科学研究費補助金等

(間接経費を含む)

研究種目	採択件数	金額(千円)
基盤研究A	3 [3]	1,040 [1,040]
基盤研究B	28 [24]	32,257 [7,687]
基盤研究C	53 [20]	40,495 [3,705]
挑戦の萌芽研究	9 [5]	4,947 [1,307]
挑戦の研究(萌芽)	4 [1]	6,240 [650]
若手研究B	11 [0]	11,655 [0]
研究活動スタート支援	1 [0]	1,430 [0]
奨励研究	2 [0]	938 [0]
合計	111 [53]	99,002 [14,389]

※[ ]は研究分担者分を内数で示す。

#### ■ 大学改革推進等補助金等

区分	件数	金額(千円)
国立大学改革強化推進補助金(特定支援型)	1	16,379
ひょうご多子世帯保育料軽減事業補助金	1	541
合計	2	16,920

#### ■ 寄附金等

区分	件数	金額(千円)
寄附金	23	21,832
兵庫教育大学基金	-	2,420
共同研究経費	1	693
受託研究経費	4	6,303
受託事業経費	15	52,973
合計	43	84,221

# Campus

## 加東キャンパス 建物等配置図



1 附属幼稚園



2 附属小学校



3 附属中学校



4 やまくにプラザ



1 講堂



2 教育・言語・社会棟



3 自然、生活・健康棟  
(教育実習総合センター)



4 芸術棟



5 体育棟



6 共通講義棟



7 附属図書館  
(教材文化資料館)



8 発達心理臨床研究センター



- A テニスコート
- B ラグビー・サッカー場
- C 洋弓場・和弓場
- D 野球場
- E 陸上競技場
- F プール
- G ソフトボール場
- H 体育館
- I 武道場
- J 課外活動共用施設



9 情報処理センター



10 大学本部・事務局  
(保健管理センター、  
社会連携センター)



11 総合研究棟  
(教職キャリア開発センター、  
都道府県連携推進本部・  
同窓会事務局、  
国際交流センター)



12 子午線ホール



13 大学会館

14 学生寄宿舍

15 国際交流会館

16 嬉野生活会館

### 学生寄宿舍等 / 土地・建物

#### ■ 学生寄宿舍等

加東キャンパス内に単身用学生寄宿舍7棟(全560室)、世帯用学生寄宿舍4棟(全120室)及び留学生用の国際交流会館居住施設(全40室)を設置しており、加東キャンパスに通う学生の約半数が入居しています。

#### ■ 入居者数

平成30年5月1日現在

区分		学部学生	大学院学生	研究生等	計	
学生寄宿舍	単身用	男子	94	68	0	162
		女子	211	37	0	248
	世帯用		0	47	5	52
	小計		305	152	5	462
国際交流会館	単身用	男子	0	0	7	7
		女子	0	0	18	18
	世帯用		0	1	4	5
	小計		0	1	29	30
合計		305	153	34	492	



▲学生寄宿舍



▲国際交流会館

#### ■ 土地・建物

平成30年5月1日現在

地区 / 建物等名称	土地面積	建物等延面積
嬉野台地区	401,735㎡	63,326㎡
大学本部・事務局		2,268
総合研究棟		2,088
附属図書館		3,506
講堂		1,264
共通講義棟		3,759
大学会館		1,885
嬉野生活会館		496
教育・言語・社会棟		8,166
自然・生活・健康棟		9,233
芸術棟		5,672
体育棟		1,343
発達心理臨床研究センター棟		1,145
情報処理センター棟		487
体育館・武道場		2,040
和弓場・洋弓場		221
課外活動共用施設		561
学生寄宿舍		15,551
国際交流会館		1,369
教育子午線ホール		787
その他		1,485
山国地区	89,272㎡	28,581㎡
やまくにプラザ		1,947
幼稚園園舎		1,217
小学校校舎		5,663
小学校体育館		850
中学校校舎		3,951
中学校体育館		906
中学校武道場		432
附属学校給食調理場		173
中央機械室		180
嬉野会館		431
職員集会所		185
職員宿舎		11,989
その他		657
合計	491,007㎡	91,907㎡

さらに  
詳しい情報は  
HP▶





# アクセス

## ■加東キャンパス周辺



### [車の場合]

- 大阪国際(伊丹)空港から中国自動車道経由 約45分
- JR新大阪駅から中国自動車道経由 約60分
- 三ノ宮(神戸市)から新神戸トンネル、国道428号線経由 約60分

### [公共交通機関の場合]

- JR新大阪駅→ハイウェイバス約65分→社(中国自動車道)→兵教シャトル便5分(平日のみ運行)/徒歩約25分→大学  
 …… | 西日本JRバスTEL.06-6371-0121 | 神姫バス(大阪)TEL.06-6392-5531
- JR「三ノ宮」駅→ハイウェイバス約55分→社(中国自動車道)→兵教シャトル便5分(平日のみ運行)/徒歩約25分→大学  
 …… | ウエスト神姫TEL.0790-62-1720 | 神姫バス神戸三宮バスターミナルTEL.078-231-5561
- JR「姫路」駅→神姫バス約70分→社(神姫バス営業所)→神姫バス約12分/タクシー約10分→大学  
 …… | 神姫バス姫路駅前案内所TEL.079-289-1189

兵庫教育大学  
山国地区

加東キャンパス ●



## ■神戸ハーバーランドキャンパス周辺



- JR「神戸駅」→徒歩 約8分
- 市営地下鉄「ハーバーランド駅」→徒歩約8分
- 阪急・阪神「高速神戸駅」→徒歩約13分

神戸  
ハーバーランド  
キャンパス  
神戸情報文化ビル  
3階

## ■連合大学院大阪サテライト周辺



- 京阪中之島線「中之島駅」下車→徒歩5分
- 阪神本線「福島駅」下車→徒歩9分
- JR東西線「新福島駅」下車→徒歩9分
- JR大阪環状線「福島駅」下車→徒歩12分
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」下車→徒歩10分
- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」下車  
→徒歩16分

連合大学院  
大阪サテライト  
大阪大学  
中之島センター  
4階

さらに  
詳しい情報は  
HP▶



# 兵庫教育大学

Hyogo University of Teacher Education

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

TEL.0795-44-2010

<http://www.hyogo-u.ac.jp>



教育の実践知と触れあい、  
確かな学びをデザインする  
教師教育のトップランナー



Logo mark

Hyogo University of Teacher Educationの「H」と「E(e)」を組み合わせで誕生しました。Hには「開かれた大学」や「発信する大学」という意味も込められています。



Character

「兵」の文字をモチーフに誕生しました。インパクトのある黄色は知性、好奇心を表し、心を開き気持ちをふるいたたせます。緑の手は調和と豊かな自然あふれるキャンパスを表しています。赤い大きな足は、創造力と喜びを表し、大地をしっかりと踏みしめながら前進することをイメージしています。